

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア

みどりの共創プロジェクト キックオフセミナー



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和4年10月4日

川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局
(川崎市総務企画局シティプロモーション推進室・建設緑政局緑化フェア推進室)

- 1** 川崎を知る
- 2** 川崎市市制100周年記念事業
- 3** 全国都市緑化かわさきフェア
- 4** みどりの共創プロジェクト

1 川崎を知る

川崎市の概要

1 川崎を知る「川崎市の概要」

●首都圏の中央部に位置する川崎市

■位置・地勢



■基礎情報

一面積

144,350平方キロメートル

20指定都市中最もコンパクト

一人人口 (R4.9.1現在)

154万1,264人

指定都市中 第6位

一人人口密度 (R4.9.1現在)

10,677人/平方キロメートル

指定都市中第2位(東日本1位)

一実質市内総生産 (H30年度)

約6兆2,818億円

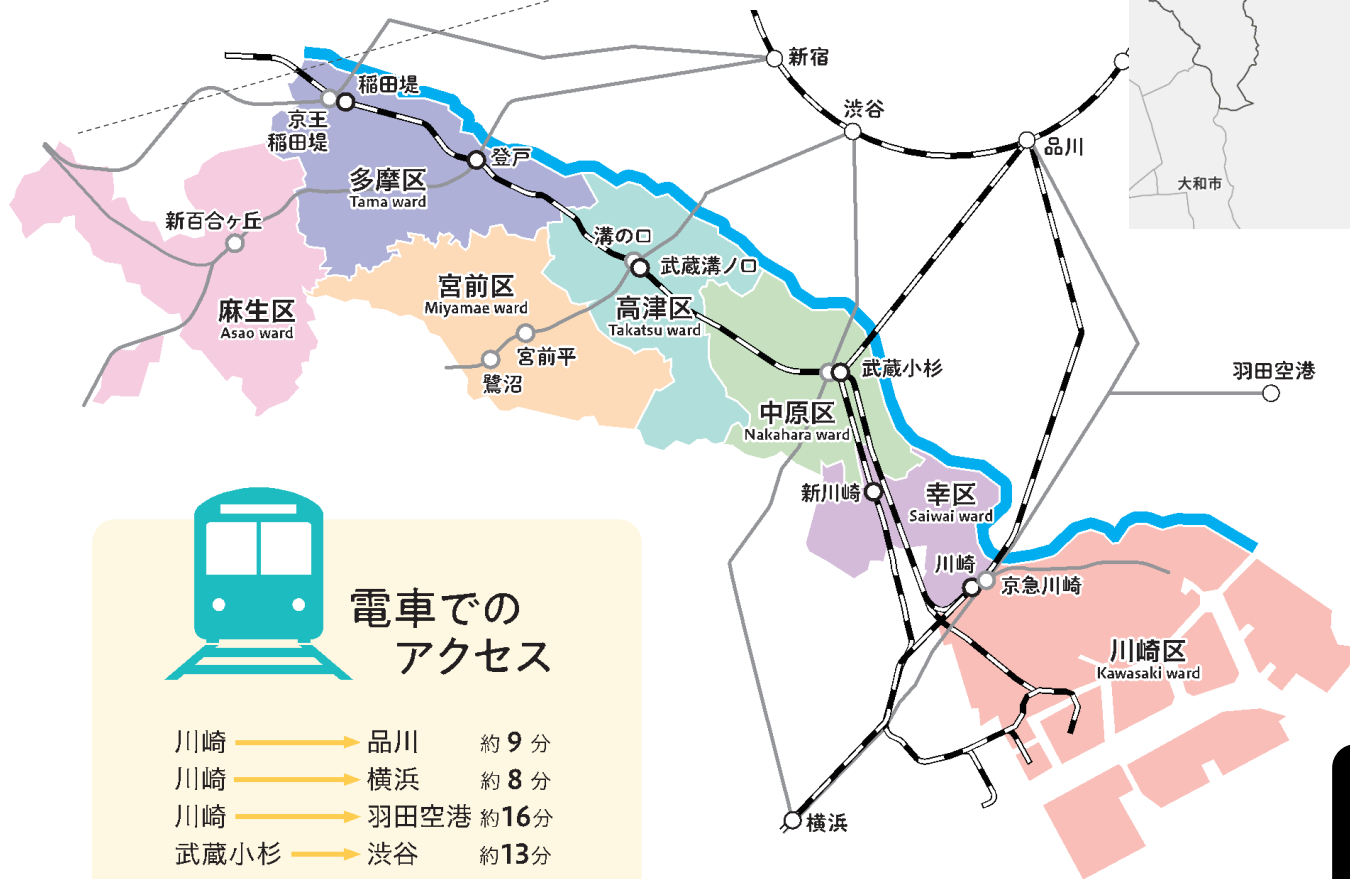
国内総生産の約1.2%

1 川崎を知る「川崎市の概要」

●首都圏の中央部に位置する川崎市

一行政区

川崎港側から川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区の7つ



電車でのアクセス















川崎	品川	約9分
川崎	横浜	約8分
川崎	羽田空港	約16分
武蔵小杉	渋谷	約13分
溝の口	渋谷	約14分
登戸	新宿	約16分

首都圏の中央部に位置
羽田空港に隣接

1 川崎を知る「川崎市の概要」

●川崎市7区の特徴

令和4年4月1日に、政令指定都市移行 **50周年**

各区	特徴など	
川崎区 	◆環境調和型工業地域として発展 ◆羽田空港に隣接 ◆広域拠点の川崎駅が位置 ◆唯一昼間人口比率が1以上	
幸区 	◆音楽の街の中核であるミュージア ◆下町的な情緒 ◆新川崎・創造のもりを中心とした最先端の研究施設	
中原区 	◆武蔵小杉駅再開発に伴い人口増 ◆区民の平均年齢が低い ◆研究開発部門が立地 ◆フロンターレと連携したまちづくり	
高津区 	◆歴史と文化の香る街 ◆K S Pをはじめ研究開発型企业集積 ◆橘地区の都市農業社会的包括	
宮前区 	◆起伏に富んだ地形 ◆花の多いまち ◆宮前メロンに代表される都市農業	
多摩区 	◆生田緑地を中心とした文化資源 (藤子・F・不二雄ミュージアム等) ◆区内に3つの大学	
麻生区 	◆芸術・文化のまち ◆農地や里山などの貴重な環境資源 ◆区内に4つの大学	

1 川崎を知る「川崎市の概要」

●川崎市の人口 ～住む人が増え続けるまち～

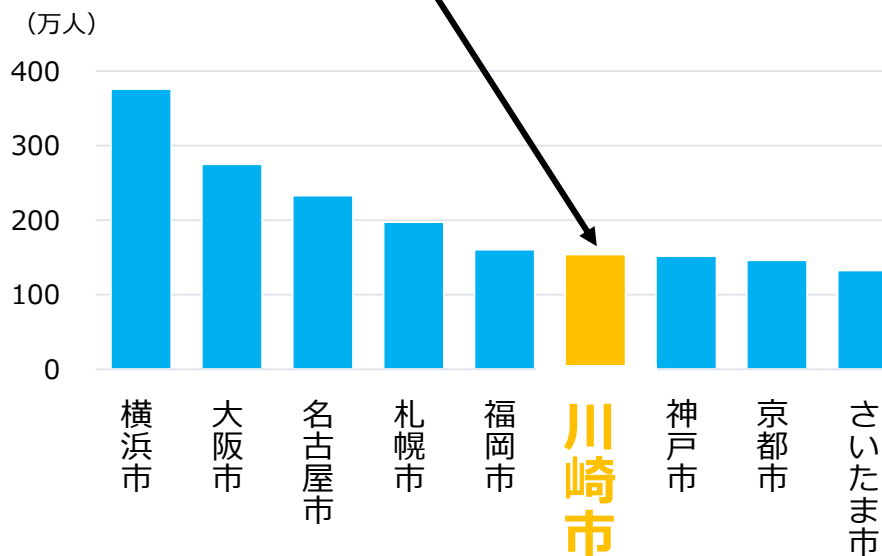
人口 (人)

(令和4年9月1日現在 各都市推計人口)

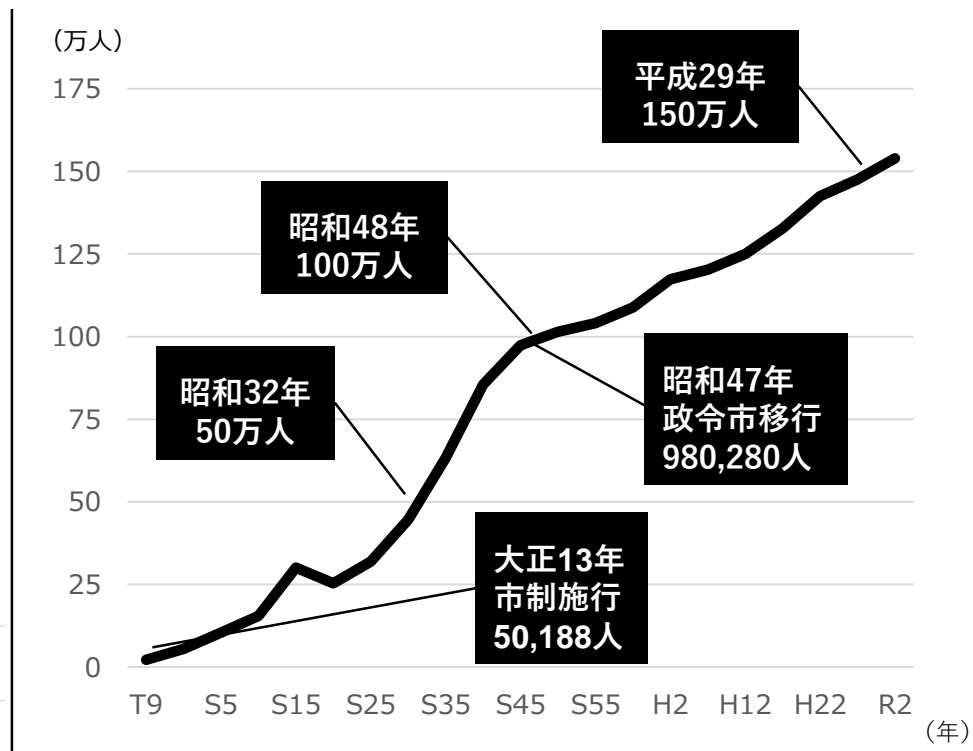
政令指定都市で
第6位

令元年5月に神戸市を逆転

1,541,264人

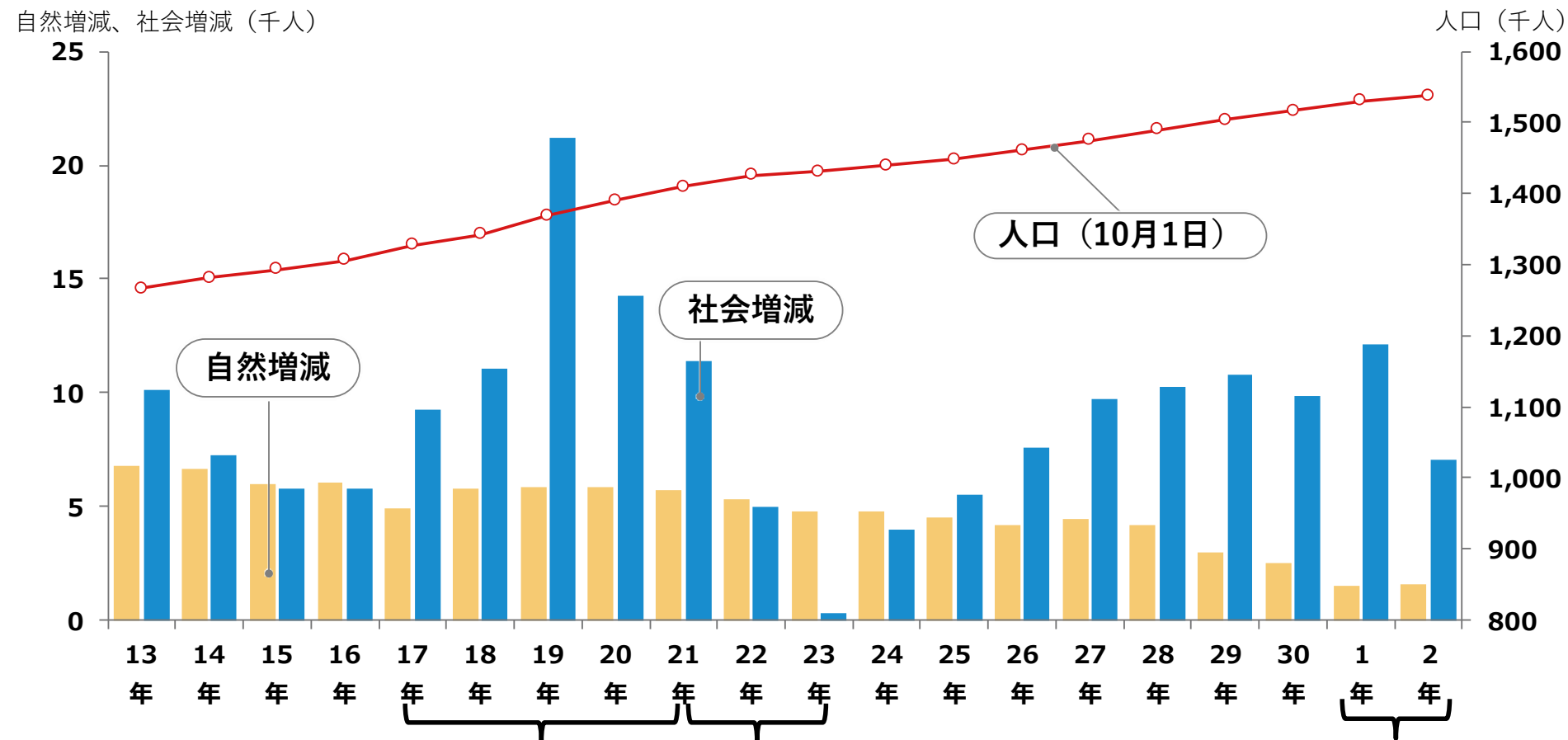


<人口の推移> (国勢調査結果及び推計人口)



●川崎市の人口 ～住む人が増え続けるまち～

自然増減・社会増減の推移（人）



武蔵小杉駅周辺を中心とした市内の再開発

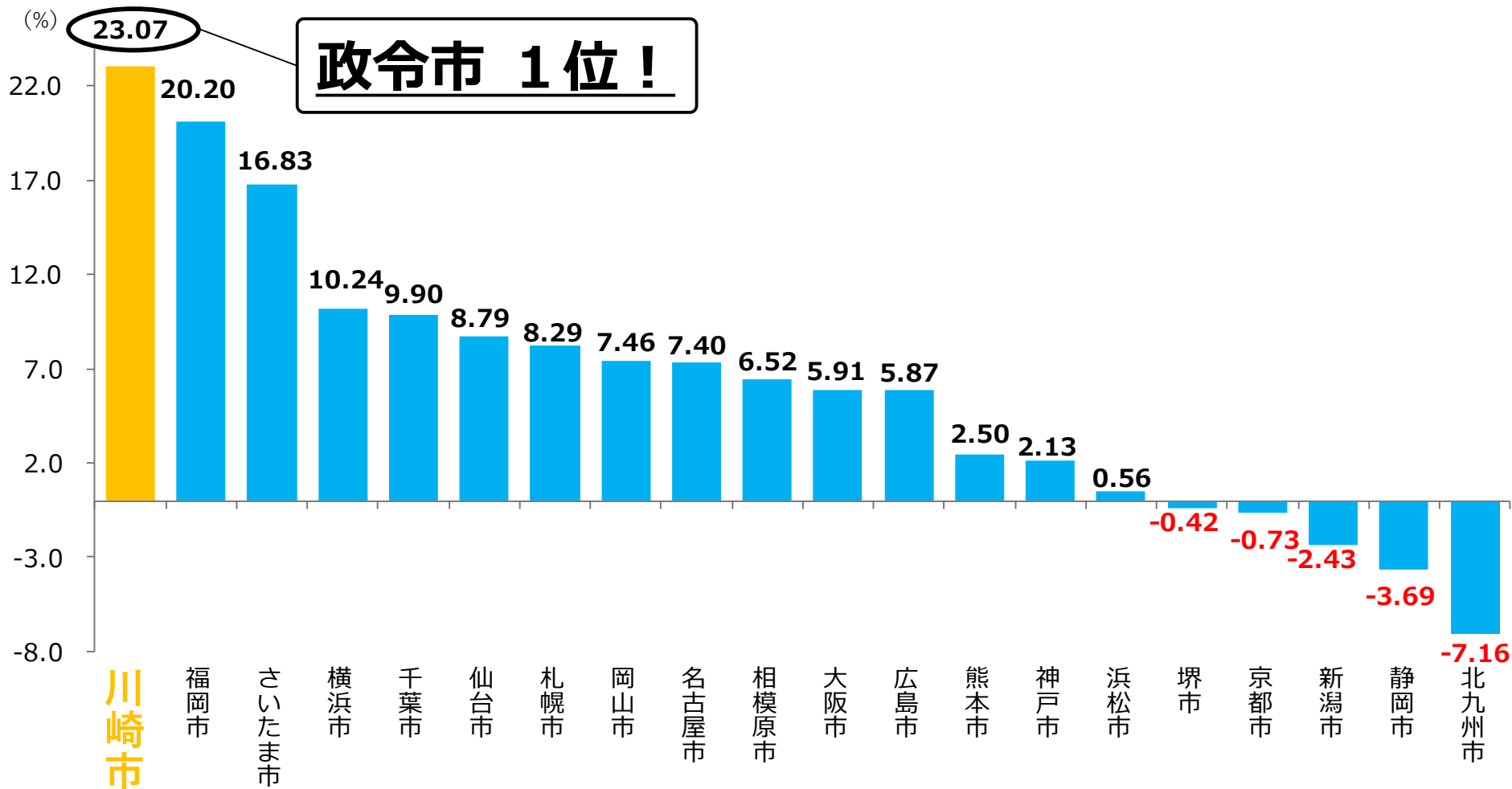
リーマンショック・東日本大震災

新型コロナウイルス感染症

1 川崎を知る「川崎市の概要」

●川崎市の人口 ～住む人が増え続けるまち～

人口増加率（過去20年間）（％）（令和2年、平成12年国勢調査）



●川崎市の特色 ～若い人が多いまち～

平均年齢（歳）

（令和2年国勢調査）

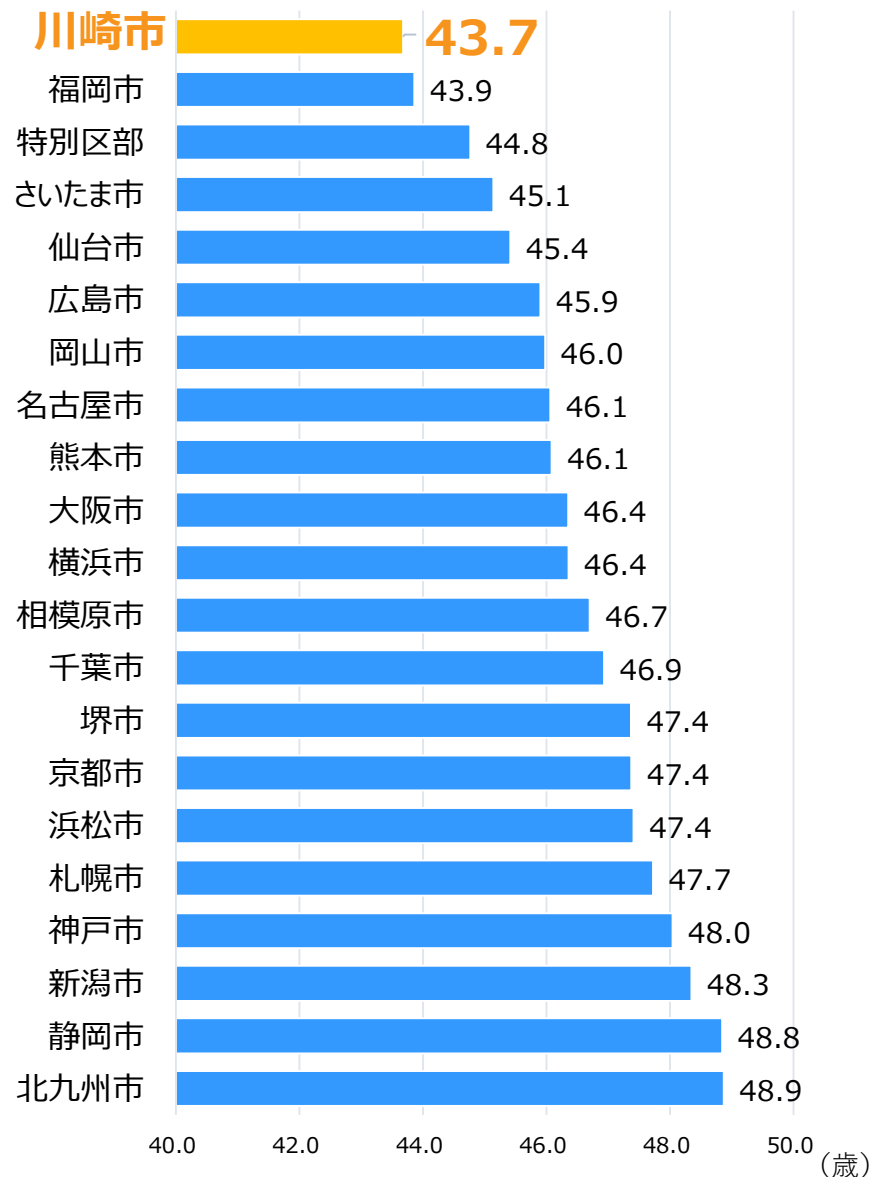
第1位



43.7 歳

大都市で最も若い！

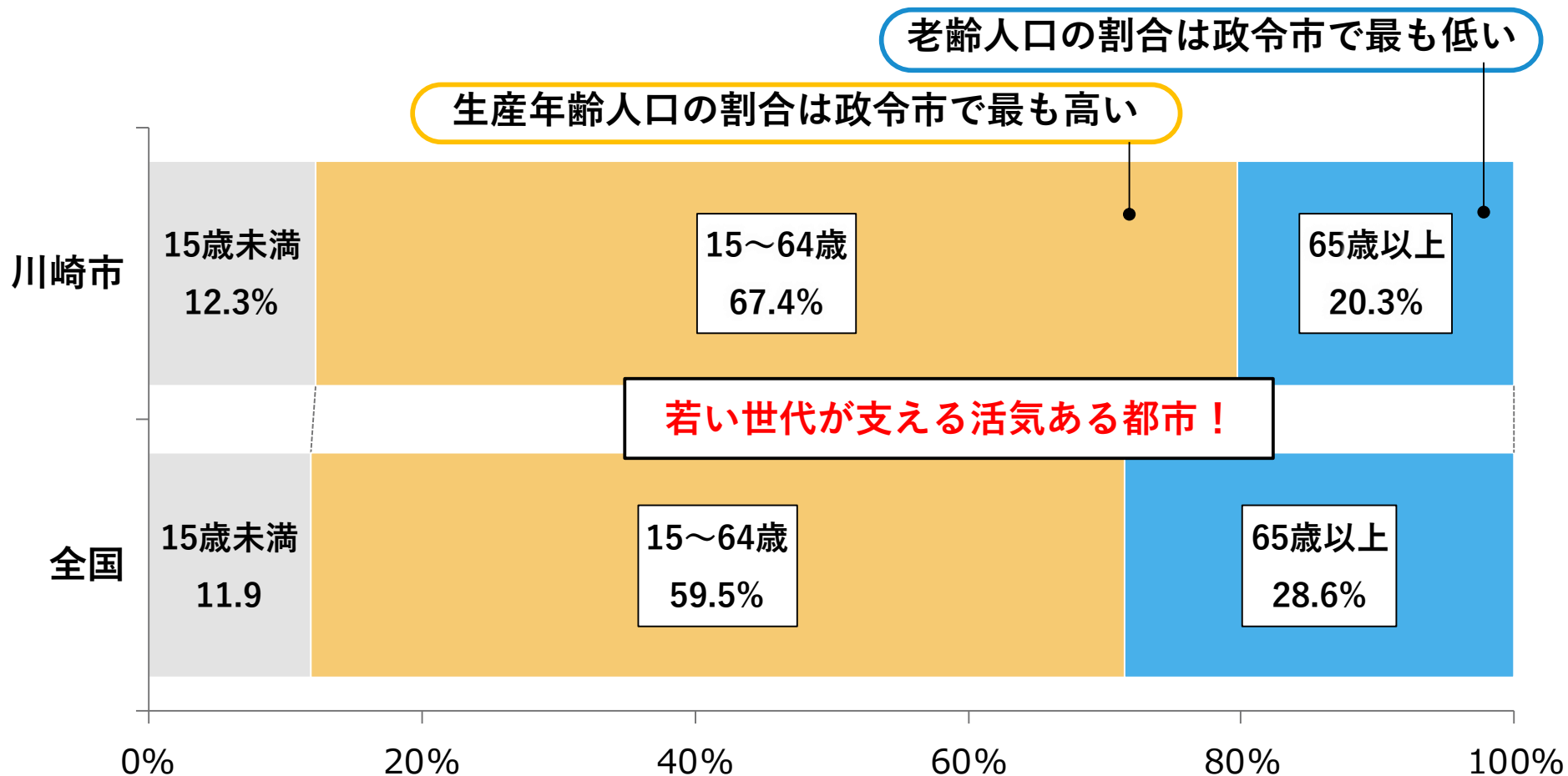
1位	川崎市	43.7
2位	福岡市	43.9
3位	さいたま市	45.1
4位	仙台市	45.4
5位	広島市	45.9



●川崎市の特色 ～若い人が多いまち～

年齢構成から見る人口（％）

（令和2年国勢調査）



●川崎市の特色 ～製造業がさかなまち～

製造品出荷額等(百万円)

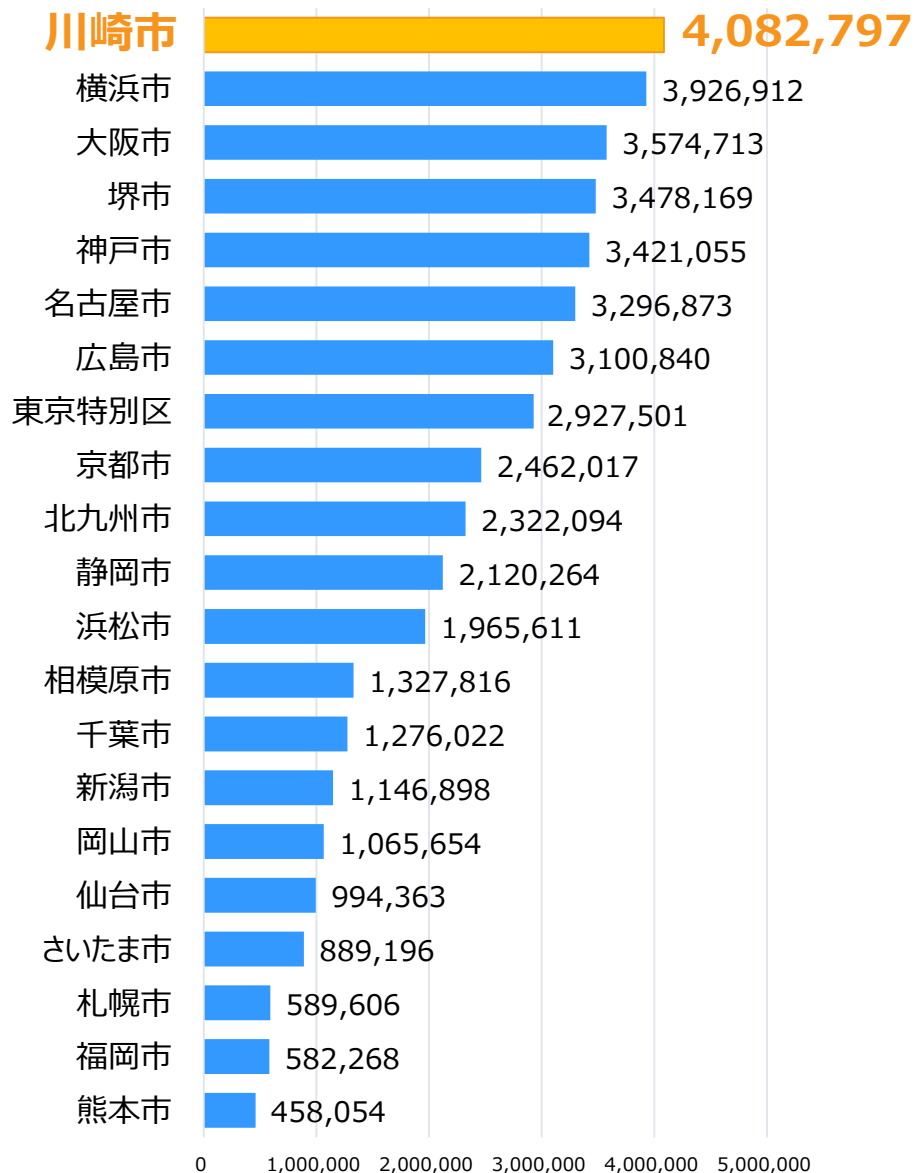
(令和2年工業統計調査)

第1位

4,082,797

百万円

大都市で最も高い！



0 1,000,000 2,000,000 3,000,000 4,000,000 5,000,000

(百万円)

1位	川崎市	4,082,797
----	-----	-----------

2位	横浜市	3,926,912
----	-----	-----------

3位	大阪市	3,574,713
----	-----	-----------

4位	堺市	3,518,667
----	----	-----------

5位	名古屋市	3,490,381
----	------	-----------

●川崎市の特徴 ～豊富な地域資源（文化・芸術）～ 魅力的な施設

- ・名作の作品世界が楽しめる「藤子・F・不二雄ミュージアム」
- ・約1800点の岡本太郎の作品を展示「岡本太郎美術館」



藤子・F・不二雄ミュージアム

©Fujiko-Pro

音楽のまち・かわさき

- ・世界最高峰の音響「ミューザ川崎シンフォニーホール」
- ・市のフランチャイズ・オーケストラ「東京交響楽団」



ミューザ川崎シンフォニーホール

(c)青柳聡

映像のまち・かわさき

- ・「CINECITTA'」をはじめ多数のシネマコンプレックスが立地
- ・日本初の映画専門の大学や映像スタジオが立地
- ・市内各所で映画やテレビ、CMなどのロケが行われる環境



ラチッタデッラ

●川崎市の特色 ～豊富な地域資源（スポーツ）～



スポーツのまち・かわさき



かわさきスポーツパートナー

川崎をホームタウンとするトップチーム（6チーム）が試合への市民招待やスポーツ教室などを通じて、スポーツを楽しめるまちづくりや川崎市のイメージアップに貢献

- 2017・2018・2020・2021明治安田生命 J1 リーグ**優勝** 2019 J1 リーグ YBCルヴァンカップ**優勝**
天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会**優勝** 「川崎フロンターレ」
- 第96回・97回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会**優勝**
2019-20 B リーグ中地区**優勝**、「川崎ブレイブサンダース」 など

●川崎市の特色 ～豊富な地域資源（観光・イベント）～

観光・ショッピング

- 日本12大工場夜景の一つ 「臨海部の工場夜景」
- 毎年多くの参拝客でにぎわう「川崎大師平間寺」
- 川崎駅直結の大型商業施設 「ラゾーナ川崎プラザ」



臨海部の工場夜景



川崎大師平間寺



ラゾーナ川崎プラザ

●川崎市の特色 ～豊富な地域資源（自然環境・その他）～

ふるさとの川・多摩川

- 多くの市民が憩い、遊び、学ぶ、多摩川の魅力を**協働により推進**
- 地域等との連携による**賑わいの創出**と新たな視点による**利活用の推進**



未来を育てるミュージアム・生田緑地

- 広大な敷地に**緑豊かな**自然環境
- 雑木林や湿地、湧き水など**貴重な自然資源**を保全
- 多数の博物館や美術館等も立地



新たな見どころが次々に誕生

- 国内外の誘客を期待 「川崎浮世絵ギャラリー」
- ネイチャーエンターテイメント水族館

「カワスイ 川崎水族館」



●川崎市のみどり

みどりの種別

里山

- ・ 特別緑地保全地区
- ・ 緑の保全地域 など



特別緑地保全地区
(79地区：約137.2ha) など

合計：約249ha

公園緑地

- ・ 街区・近隣・地区
公園・総合公園 など



街区公園
(1015箇所：約122ha) など

約1,200箇所
合計：約758ha

地域緑化

- ・ 街路樹・グリーン
ベルト・事業所緑化



協定事業所：62事業所
緑化面積：約147.2ha

●川崎市のみどり

様々な主体による管理

里山

- ・ 特別緑地保全地区
- ・ 緑の保全地域 など



公園緑地

- ・ 街区・近隣・地区公園・総合公園 など



地域緑化

- ・ 街路樹・グリーンベルト・事業所緑化



大学

市民・地域団体

管理運営協議会
公園緑地愛護会

緑の活動団体

街路樹等愛護会

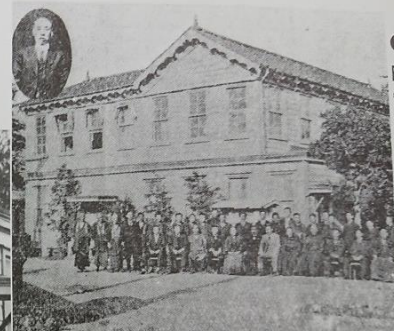
指定管理者

企業

川崎市のあゆみ

●川崎市の誕生

- 1924（大正13）年7月1日、川崎町、御幸村、大師町とが合併し、川崎市が誕生
- 当時の人口は約5万人



●川崎が焼け野原に

- 太平洋戦争が激しくなったころから、川崎市も空襲を受け、工場や鉄道が爆撃の対象となり、**中心地は焼け野原に**



●日本有数の工業都市へ発展

- 1960年代、戦後の高度経済成長期には、京浜工業地帯の中枢を担う**工業都市として川崎は大きく発展**



●大気汚染や環境問題の深刻化

- **工業の発展**とともに、市民の暮らしは豊かに
- その代償として、**大気汚染などの都市型の環境問題**に直面
- 大気汚染などの公害問題により**市民への健康被害が深刻化**



●大気汚染や環境問題の深刻化



臨海部の工場から排出される煙で覆われたまち

1960年代の川崎の空

●大気汚染や環境問題の深刻化



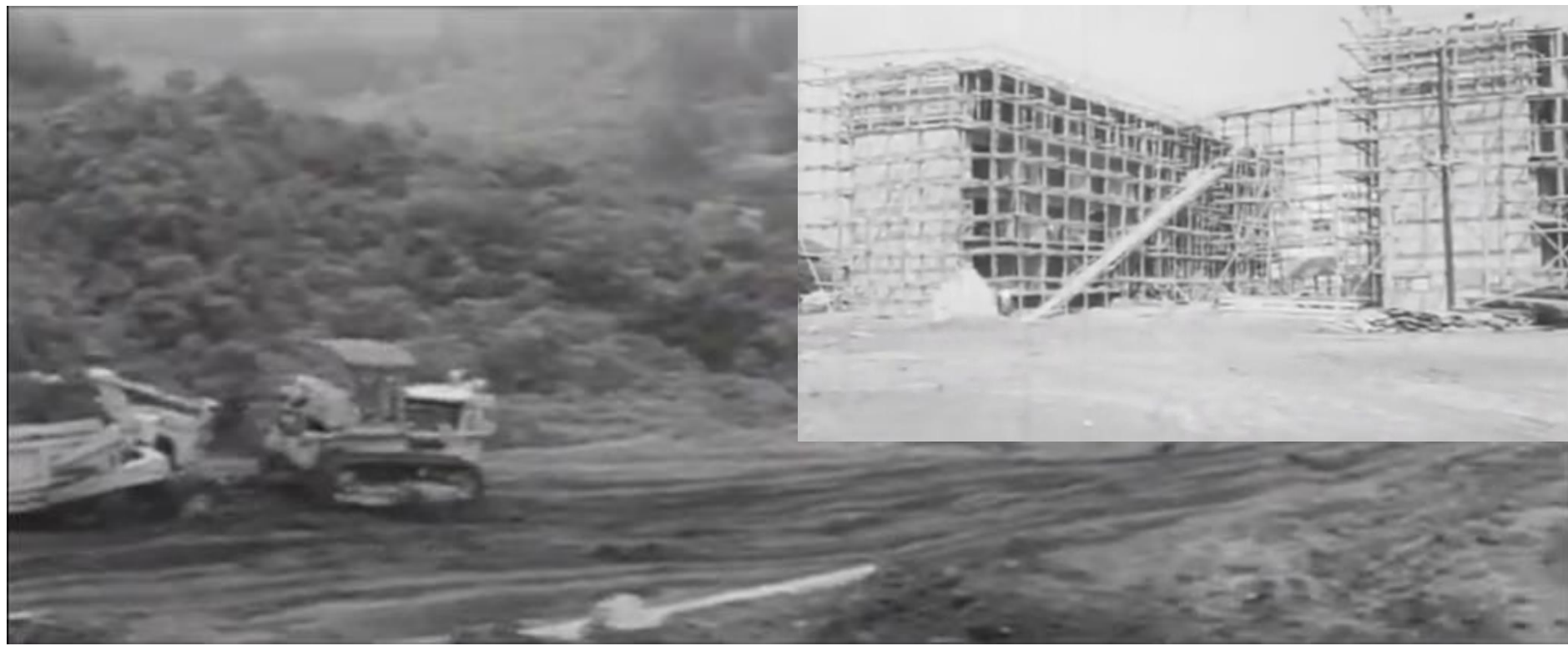
川に浮かぶ
白い泡

生活排水やごみの流入による水質の悪化

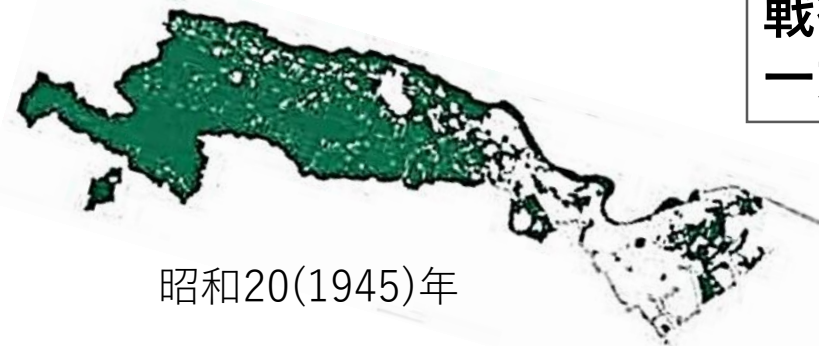
1970年代の多摩川

●宅地開発により、緑が大幅に減少

- 人口の増加とともに、北西部地域の多摩丘陵における**宅地開発が急速に進展**
- 大規模区画整理事業により丘陵地は切り崩され、**緑が大幅に減少**



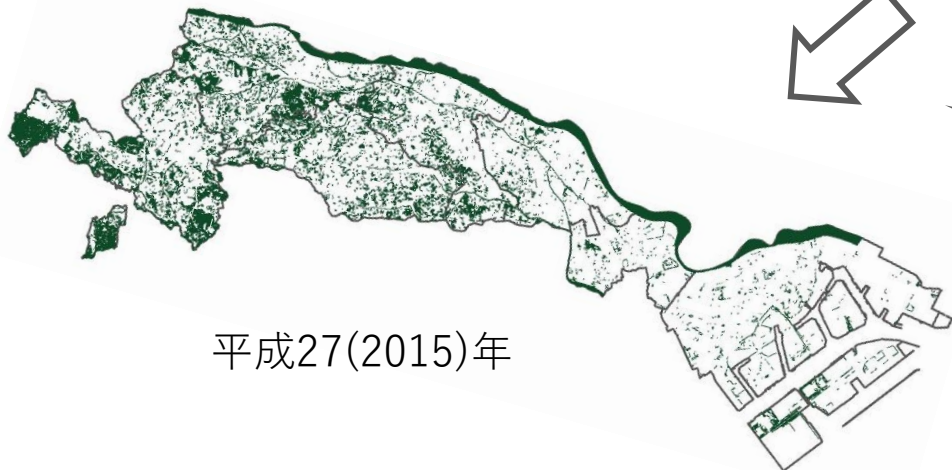
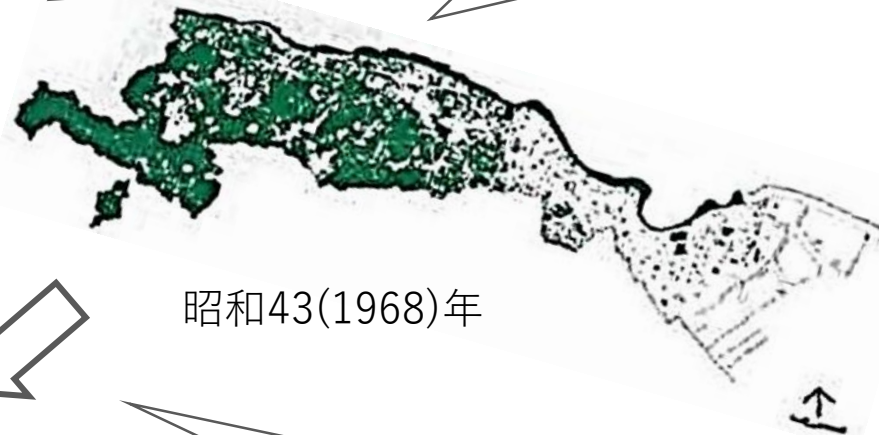
●みどりの変遷



戦後の高度経済成長期に大きく発展
一方、大気汚染が深刻化



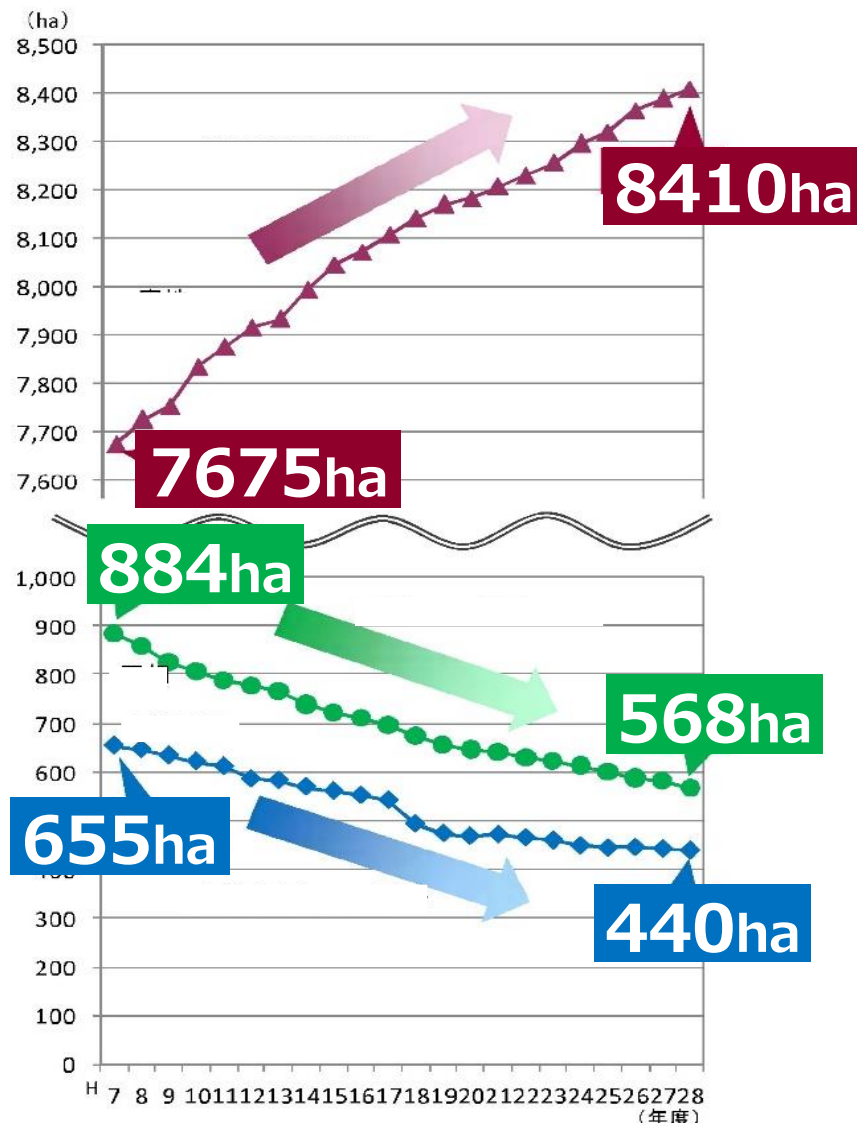
宅地開発が進む等により、
緑が大幅に減少



全国に先駆けて、緑の条例を制定し、
市民と行政のパートナーシップにより
樹林地等の保全・育成を推進

●みどりの変遷

川崎市の土地利用の推移 (H7~H28)



宅地

・735ha増加

田畑

・316ha減少

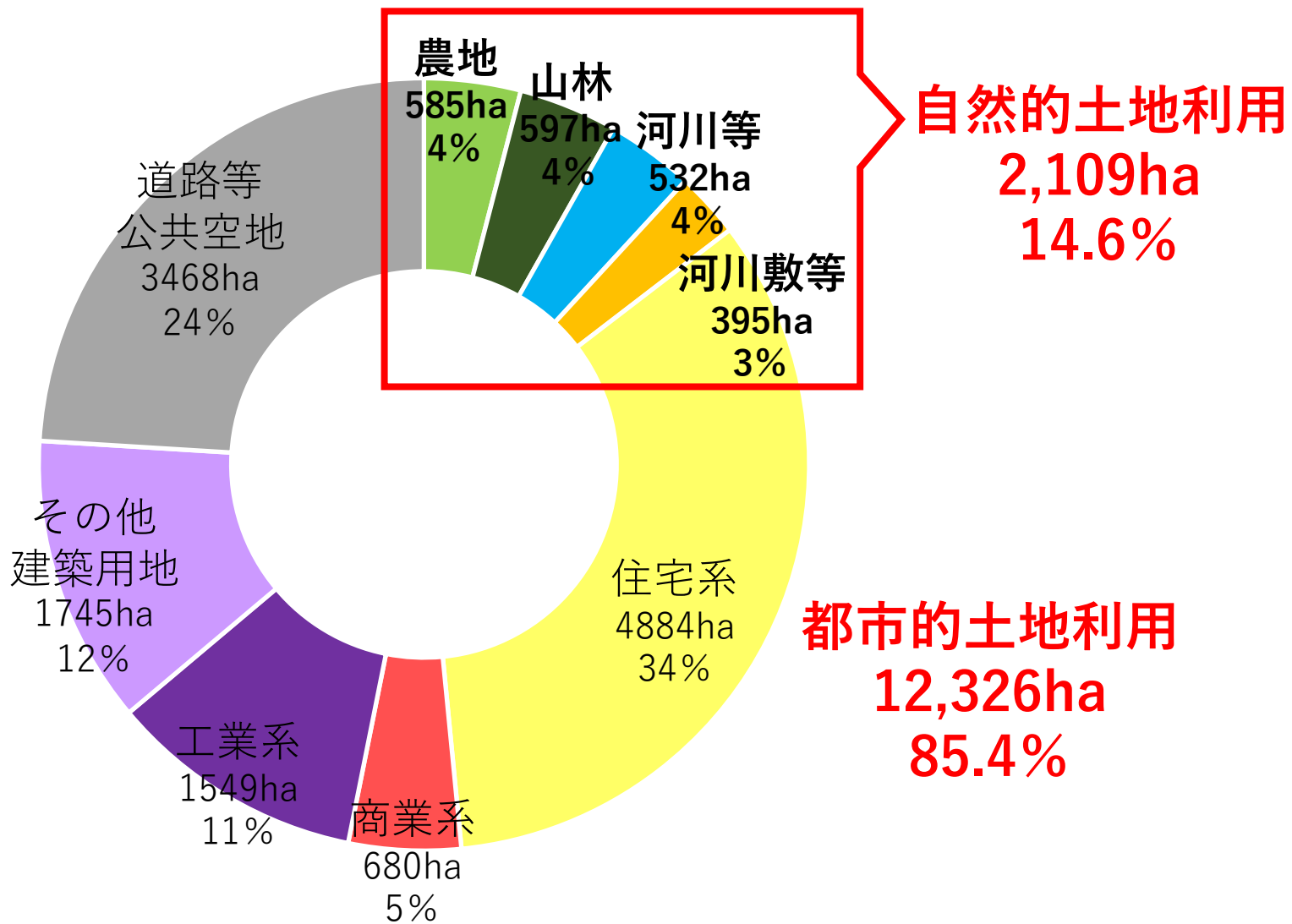
山林原野

・215ha減少

宅地の増加、田畑等の減少が進む

●みどりの変遷

川崎市の土地利用の状況（H27）



●緑の保全、創出に向けた動き

- 1970年代、自然破壊を阻止するため、住民運動がおこり、**緑の保全・創出の動き**が始まる
- 臨海部の工場地帯を中心に、**工場の緑化が進展**するなど、環境問題への対策が広まる



●公害問題を克服

市民、企業、行政が連携して環境問題の克服



きれいな空を取り戻し、大気の済んだ日には富士山も望める

現在の川崎の空

●公害問題を克服

市民、企業、行政が連携して環境問題の克服



水質が改善し、多様な生きものが暮らす川に

現在の多摩川

●みどりの取組

- ・市民、企業等の多様な主体との連携・協働により、緑の保全、育成、創出、活用が進展



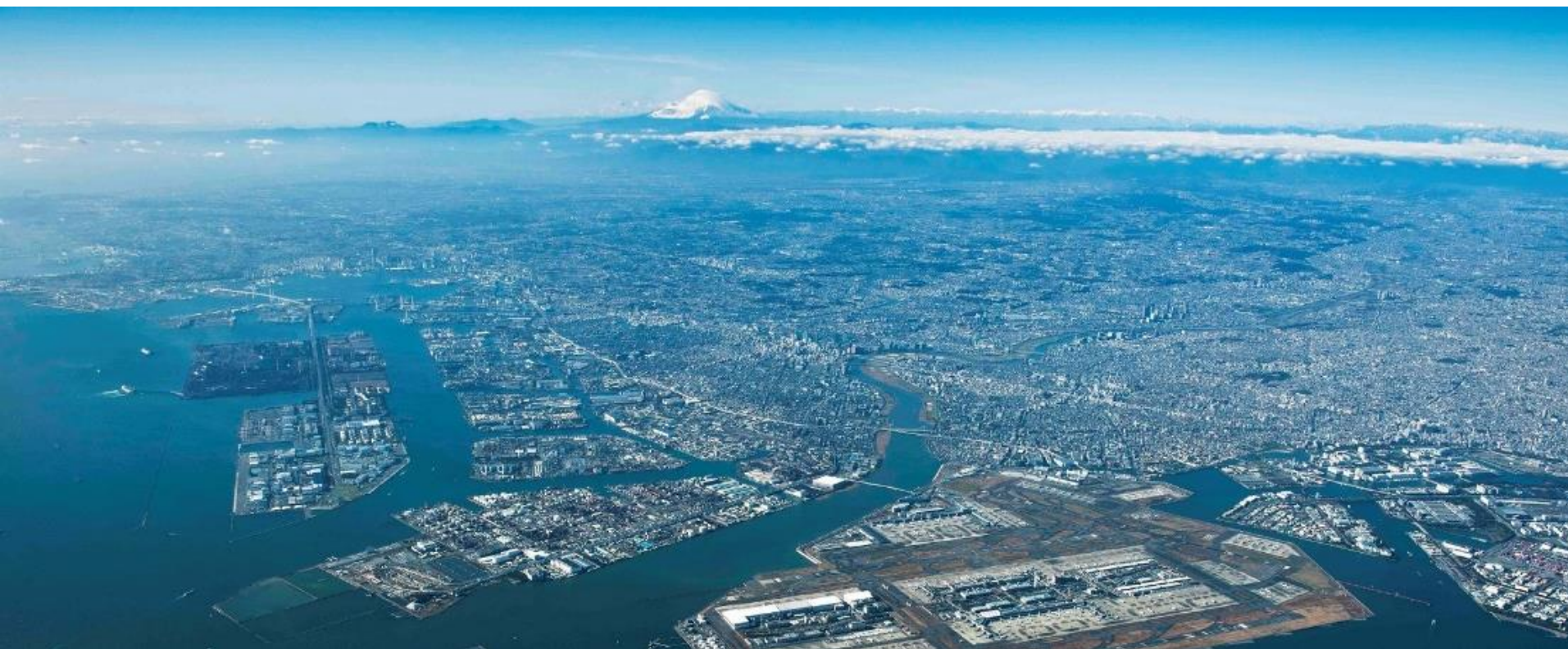
生田緑地マネジメント会議（多摩区）



事業所緑化（川崎市みどりの事業所推進協議会）

●持続可能な社会の実現に向けた取組

2019（令和元）年7月 SDGs 未来都市に選定



川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

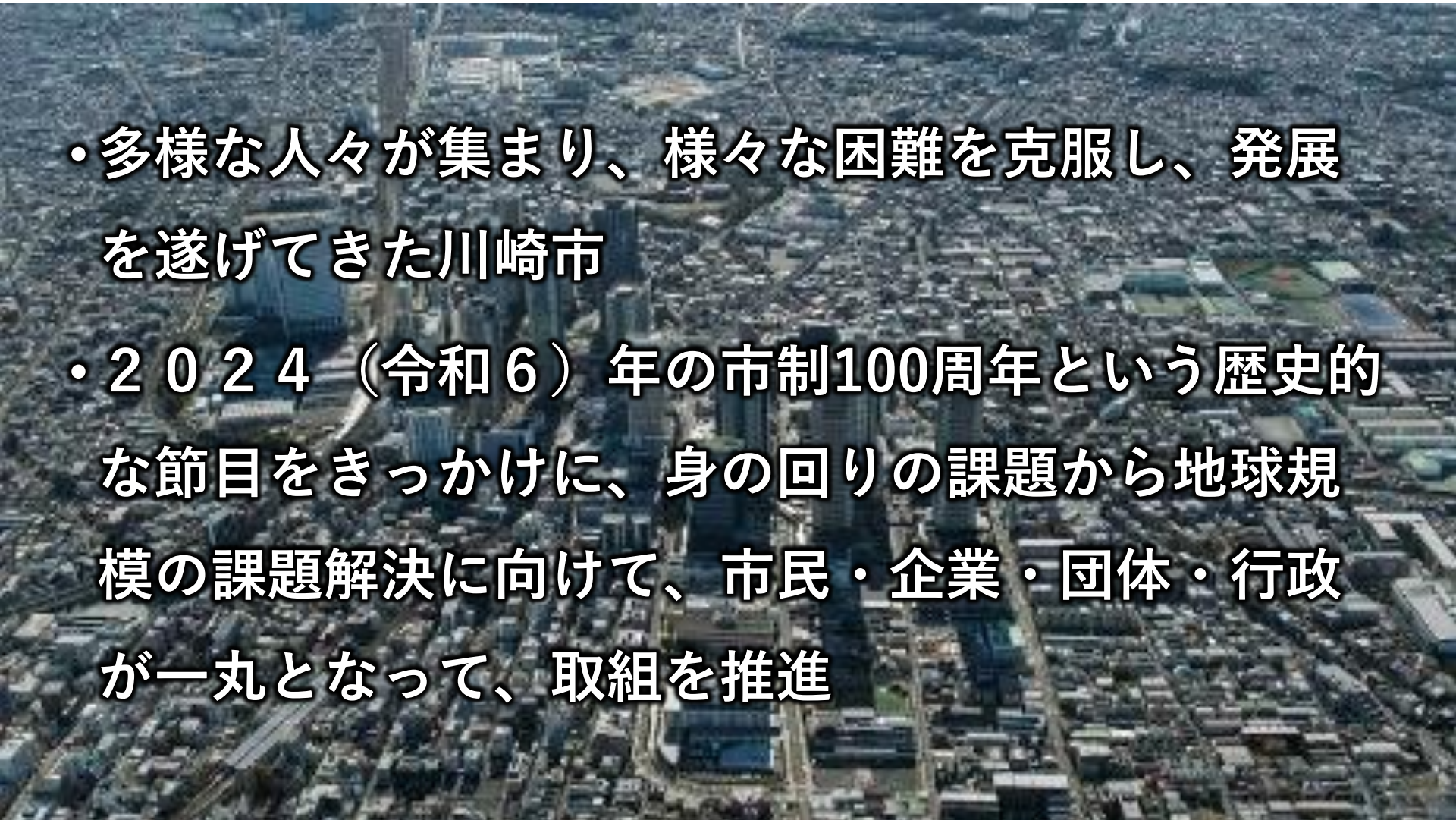
●持続可能な社会の実現に向けた取組

2020（令和2）年11月

脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」
を策定

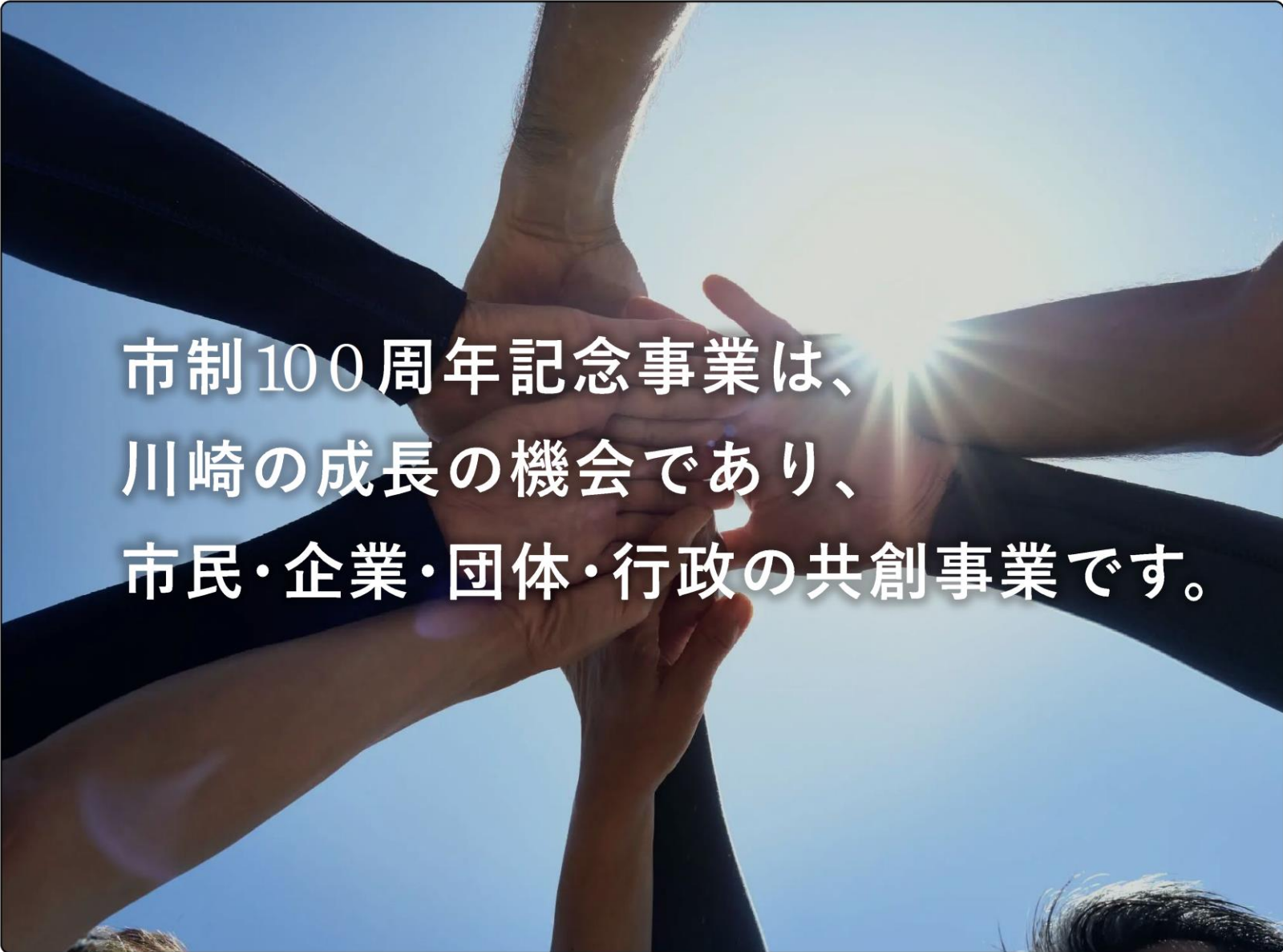


●次の100年に向けて

- 
- An aerial photograph of Kawasaki City, Japan, showing a dense urban landscape with numerous buildings, roads, and green spaces. The city is viewed from a high angle, providing a comprehensive overview of its urban structure.
- 多様な人々が集まり、様々な困難を克服し、発展を遂げてきた川崎市
 - 2024（令和6）年の市制100周年という歴史的な節目をきっかけに、身の回りの課題から地球規模の課題解決に向けて、市民・企業・団体・行政が一丸となって、取組を推進

2 川崎市市制100周年記念事業

●市制100周年記念事業とは



市制100周年記念事業は、
川崎の成長の機会であり、
市民・企業・団体・行政の共創事業です。

●市制100周年記念事業とは



●記念事業のコンセプト

Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市

- 本市のブランドメッセージ「Colors, Future! いろいろって、未来。」の実行による未来の可能性の場づくりをしていくことで、さまざまな活動や価値が生まれ、**この先100年に向けた川崎の成長の機会**とします。

●記念事業プラットフォーム

Colors, Future! Actions

川崎のどんなところが好きですか。

お気に入りの場所。ほっとするまちの仲間。
ひとりひとりの“好き”をつなぎ、かけ合わせて、
いっしょに川崎を育てていこう。

このまちに暮らし、このまちを発展させてきた
たくさんの人たちに感謝を抱きながら、
あたらしい川崎を未来の人たちへとつないでいこう。

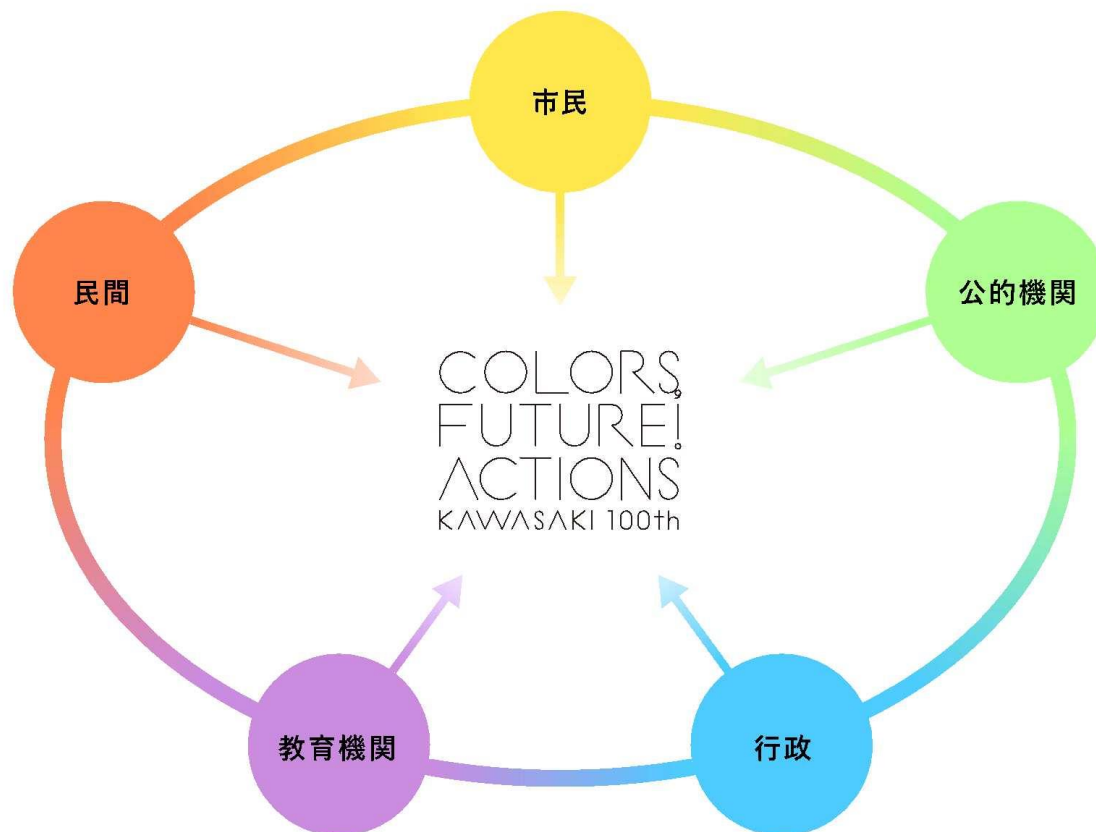
いろいろな人たちが集まる川崎だからこそ、
多様で多彩なアクションを、つぎつぎと。

100年目の川崎市ではじまる Colors, Future! Actions。
“好き”があふれるまちづくりを、さあいっしょに。

- ・ 記念事業のコンセプト「Colors, Future! いろいろって、未来。」を具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors, Future! Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。

●記念事業プラットフォーム

Colors, Future! Actionsは、
一人ひとりの市民、関係する企業、団体、川崎市と共に未来のかわさきを考え、
創っていくための、活動、プラットフォームです。



●記念事業プラットフォーム：ロゴ

COLORS,
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

● 「Colors, Future! Actions」 取組イメージ

市制100周年記念事業プラットフォーム

【川崎市の未来を構想し、実現へと共創する活動の場】

Colors, Future! Actions

一人ひとりの“好き”を掛け合わせることで、いっしょにあたらしい川崎をつくっていく



[実行委員会][市][市民等]
の様々な主体が連携しながら多
様で多彩なActionを創出する

実行委員会

市民等(パートナー)

川崎市(各局区)

● 15のActionテーマ（ラベリング）

- 「Colors, Future! Actions」に関わるさまざまな主体が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか企画・検討しやすくするために、「より川崎をよくする」取組の“目印”を15個示して、「Actionテーマ」として設定します。

COLORS, FUTURE! ACTIONS

KAWASAKI 100th



ACTION 01

グリーン・コミュニティ



ACTION 02

ブランディング



ACTION 03

ビジネス・インキュベーション



ACTION 04

ネクストジェネレーション



ACTION 05

名物フード



ACTION 06

チアアップ



ACTION 07

ナイトタイムエコノミー



ACTION 08

サステナブル



ACTION 09

イベント・祭



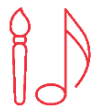
ACTION 10

Well-being



ACTION 11

グローバル



ACTION 12

アート&ミュージック



ACTION 13

スポーツ



ACTION 14

学び



ACTION 15

安全・安心

● 15のActionテーマ（ラベリング）



ACTION 01

グリーン・コミュニティ

みどりを増やすのみならず、みどりと人の多様で新しい関係づくり。都市環境整備の活動など。



ACTION 04

ネクストジェネレーション

ブレイキンやBMX、スケートボードなど若者文化を広める活動や、若者のアクションを応援する活動。



ACTION 02

ブランディング

川崎ブランドを伝えるメディアの開発や、新たなスーベニアの開発など。



ACTION 05

名物フード

ダイバーシティを体現するソウルフードの開発。フードロスアクションの推進など。



ACTION 03

ビジネス・インキュベーション

企業支援・研究開発（スタートアップ支援・量子コンピューターネイティブの育成など）

● 15のActionテーマ（ラベリング）



シニア・健康・子育てなどを応援する活動。



フェスの開催や、地産地消マルシェの推進、ハロウィンに続くシンボルイベントの創出など。



ナイトマルシェの開催や、夜でも安全に楽しめるパークの整備など。



健康福祉。コミュニティへの参加や憩いの場の創出など。



環境・臨海部に関する活動。脱炭素の取り組みや循環型の持続可能なまちづくりに関する取り組み。環境技術など。

● 15のActionテーマ（ラベリング）



ACTION 11
グローバル

インバウンド向けの情報発信、コト消費の開発、在住外国人との交流支援など。



ACTION 14
学び

まちの歴史探求や工場見学といった学び体験やコンテンツなど。



ACTION 12
アート&ミュージック

文化・音楽に関する活動全般。アートのDX推進。新たな表現スペースの創出など。



ACTION 15
安全・安心

防犯や地域の見守り、災害への備えといった安全・安心のまちかわさきへの取り組みなど



ACTION 13
スポーツ

サッカーやバスケットをはじめとする、スポーツに関わるもの全て。

●Actionテーマ使用（取組推進）イメージ

周知

- ・記念事業のプラットフォーム「**Colors, Future! Actions**」と併せて、HP・ポスター・メディア等のあらゆる媒体を通じて使用イメージを周知し、市民総参加型で取り組みたい方向性を共有する

事業企画

- ・**実行委員会・市民等が、「より川崎がよくなる」「より川崎を好きになる」ことにつながる取組として、自分ならどんなActionができそうか、Actionテーマをふまえて企画・検討**
- ・生み出された様々なActionについて、関連するActionテーマをラベリング
※複数のテーマが関連するActionについては、一つのActionに対して複数のテーマをラベリング

【●●プロジェクト】

ACTION 01	ACTION 04	ACTION 09	ACTION 11
--------------	--------------	--------------	--------------

【××プロジェクト】

ACTION 02

【▲▲プロジェクト】

ACTION 01	ACTION 05	ACTION 08
--------------	--------------	--------------

発信

- ・様々なActionの周知の際に、Actionテーマのラベルを配布して発信テーマごとにまとめ、わかりやすく発信（HP・パンフレット等）
- ・市民、企業、団体、市等はAction実施時にHPやポスター等で「このActionはこのテーマに関連しています」ということを発信し、記念事業に参加していることをアピール

参加・体験

- ・市民等はラベルにより自分の興味があるActionを検索して参加・体験

●実施期間

令和6（2024）年4月1日～令和7（2025）年3月31日

- それ以前についても、準備期間として、市制100周年に向けて市全体の機運を高めるためのPR事業等の実施や記念事業に向けたさまざまな活動等を実施

●時期ごとの目的・事業

・準備期間からも川崎市に関わる多くの方に

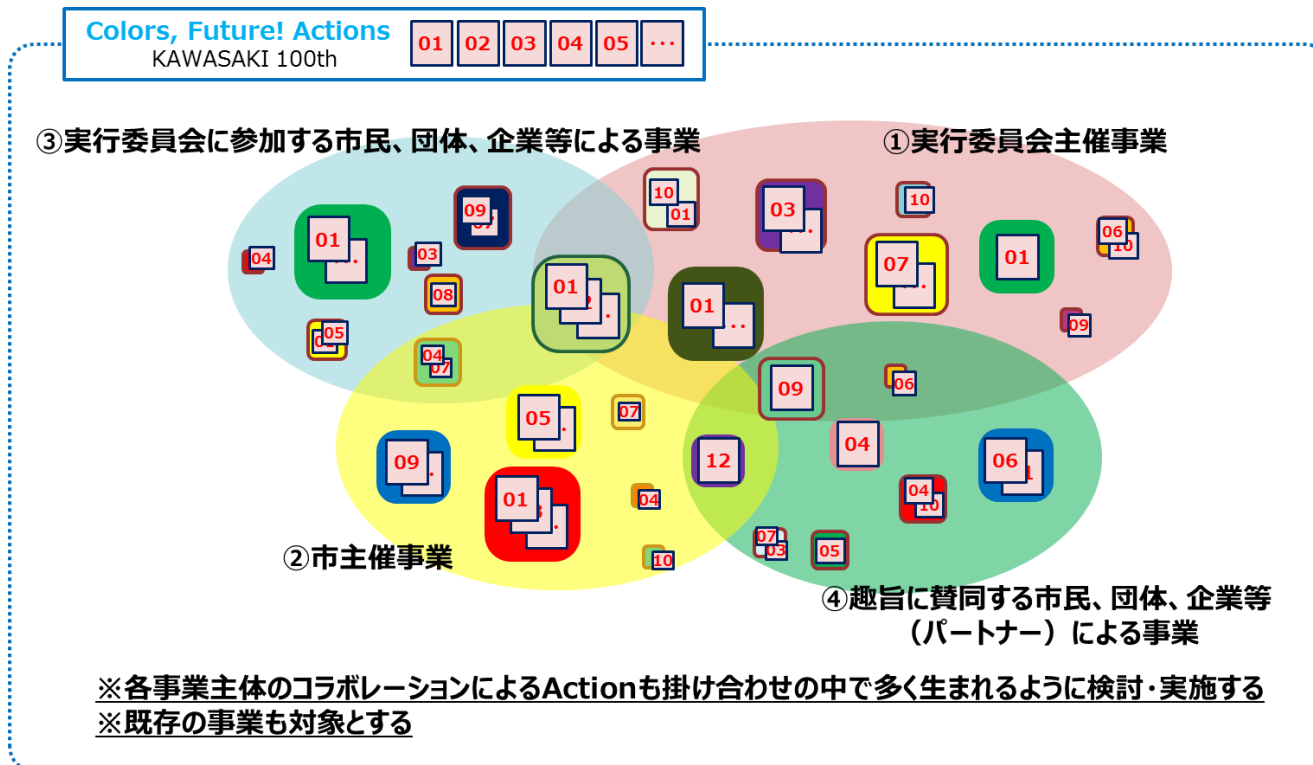
「川崎を知って」→「記念事業に関わって、つながって」→「川崎を好きになって」

いただくため、期間ごとの目的を示して、事業を展開。

	準備期間 (令和5(2023)年度)	記念事業期間 (令和6(2024)年度)
目的	「川崎を知ろう」	「記念事業に関わって」 →「川崎を好きになろう」
PR事業	記念事業に多くの市民が参加や参画してもらえるように、またオール川崎市で市制100周年を祝うことができるように「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての思い」を広く周知するPRを中心に実施	「令和6年度に川崎市が市制100周年を迎えること、迎えるにあたっての思い」を広く周知するPRとともに、 多彩なActionの取組を広報し、記念事業に関わってもらうPRを実施
Action	令和6年度の記念事業実施に向けて先導していくAction (単発事業・イベントではなく、翌年度にむけて熱量をあげていくAction)	記念事業のコンセプトを踏まえた 多彩なAction

●記念事業の構成

- 記念事業は、実行委員会が実施する①**実行委員会主催事業**、市が実施する②**市主催事業**、③**実行委員会に参加する市民、団体、企業等による事業**、④**趣旨に賛同する市民、団体、企業等（パートナー）による事業**で構成
- 既存の事業も対象とし、各事業主体のコラボレーションによるActionも掛け合わせの中で多く生まれるように検討・実施



●記念事業の構成

- ・ 実行委員会ホームページの開設後、検討した事業の募集を次のとおり行っていきます。皆さまでどんなActionができそうか企画・検討していただき、一人ひとりの想いや夢をぜひ事業として提案してください。

今後の事業募集のスケジュール（予定）

- ・ **令和4（2022）年10月頃～12月頃 事業提案の募集**

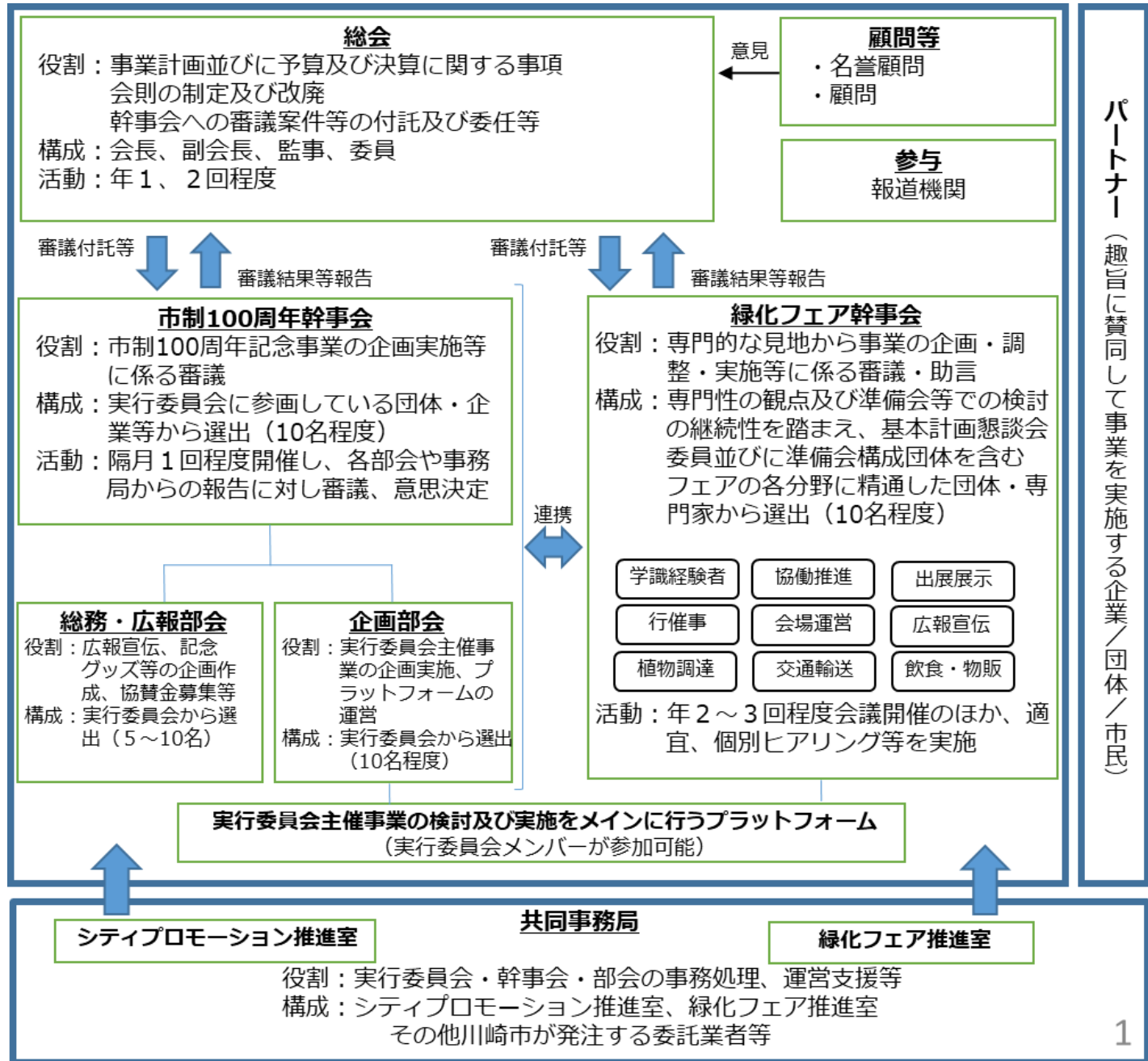
⇒ 令和5年（2023）年3月策定の実施計画に反映

- ・ **令和5（2023）年7月頃～12月頃 事業提案の募集**

⇒ 令和6年（2024）年3月の実施計画改定に反映

- ・ 令和6年（2024）年4月以降も記念事業期間内は随時事業提案の受付を行い、実施計画に追加

●実施体制



●9月1日 設立総会・第1回総会

- 市制100周年をオール川崎市で推進していくとともに、象徴的事業である全国都市緑化かわさきフェアと一体的な展開を図っていくため、合同の実行委員会を設立

- (1) 日 時 令和4年9月1日(木) 15時30分～16時50分
- (2) 開催方法 ハイブリッド形式(対面開催、オンライン併用)
- (3) 場 所 川崎市産業振興会館ホール(幸区堀川町66-20)
- (4) 出席人数 約260名(オンライン出席者を含む)



市長プレゼンテーションの様子



設立総会の様子



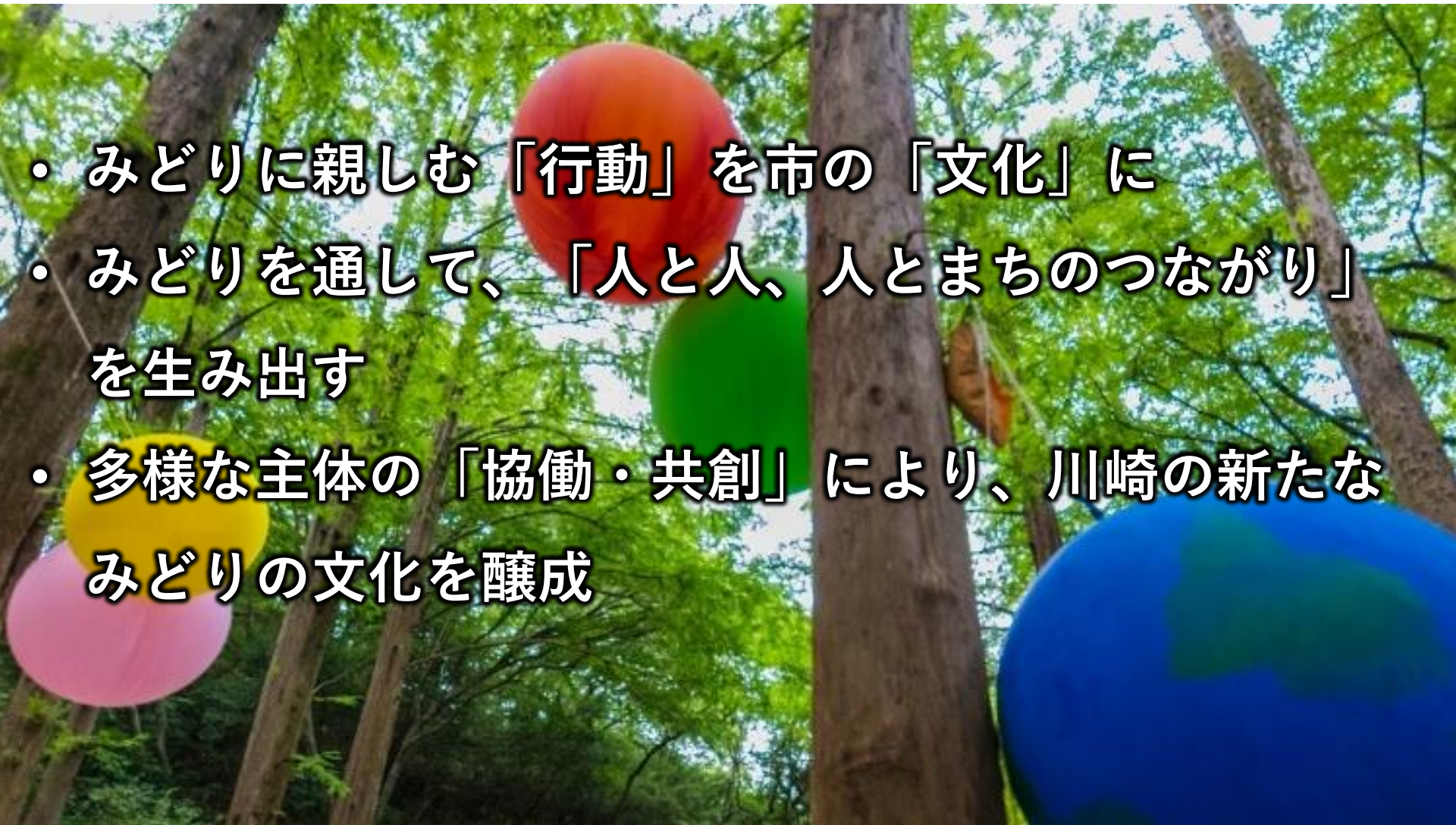
川崎市市制100周年記念事業
及び全国都市緑化かわさきフェア ロゴ

参画団体数

276団体(顧問を除く) ※9月1日現在

3 全国都市緑化かわさきフェア

●かわさきフェアが目指すもの

- 
- ・ みどりに親しむ「行動」を市の「文化」に
 - ・ みどりを通して、「人と人、人とまちのつながり」を生ま出す
 - ・ 多様な主体の「協働・共創」により、川崎の新たなみどりの文化を醸成

●全国都市緑化フェアとは

- 都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及
- 国地方公共団体及び民間の協力による**都市緑化の全国的な推進**による**緑豊かな潤いのある都市づくり**



第33回 よこはまフェア（H29）



第38回 くまもとフェア（R3）

市制 100 周年を迎える令和 6（2024）年度の
市制100周年記念事業の象徴的事業として

「第 4 1 回全国都市緑化かわさきフェア」を開催

●かわさきフェアにおける事業展開

① みどりのまちづくり

- ・「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現に向けて、フェアの開催前から行う協働・共創の取組

② かわさきフェア（行催事）

- ・令和6年度の秋・春に開催するコア会場周辺エリアの行催事・出展展示

●かわさきフェアの概要

名 称	第41回 全国都市緑化かわさきフェア
主催者等	・主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構 ・実施主体：実行委員会
開催期間	【秋】令和6年10月中旬～11月上旬 【春】令和7年3月上旬～3月下旬
会 場	コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地
	協賛・連携会場等： 駅、商業施設、民有空地、区役所等

●テーマ・愛称・ロゴ

テーマ

みどりで、つなげる。
みんなが、つながる。

愛称

Green For All KAWASAKI 2024

ロゴ



「Colors,Future! Actions」の取組の一つである「Green For All」を表現するため、みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見たてて表現

●会場展開

- 地域の個性的な取組を相互に連携させ、市内全体で一体感
- 市民・企業・学校・各種団体等のあらゆる主体を巻き込み、みんなで盛り上がる、市民総参加型のフェア



●コア会場の取組の考え方

【富士見エリア】 「多様性」×みどり

- 川崎の多様な魅力・文化・技術を反映した、みどりとオープンスペースの利活用
- あらゆる人々が、みどりの価値に触れ、**実感できる空間**を創出



●コア会場の取組の考え方

【等々力エリア】「体験・体感」×みどり



- 地域のみどりや水辺を身近に感じ、リラックスしながら自由な時間が過ごせる空間を創出
- スポーツやアクティビティを中心とした体験・体感の場を創出

●コア会場の取組の考え方

【生田エリア】「歴史・文化」×みどり



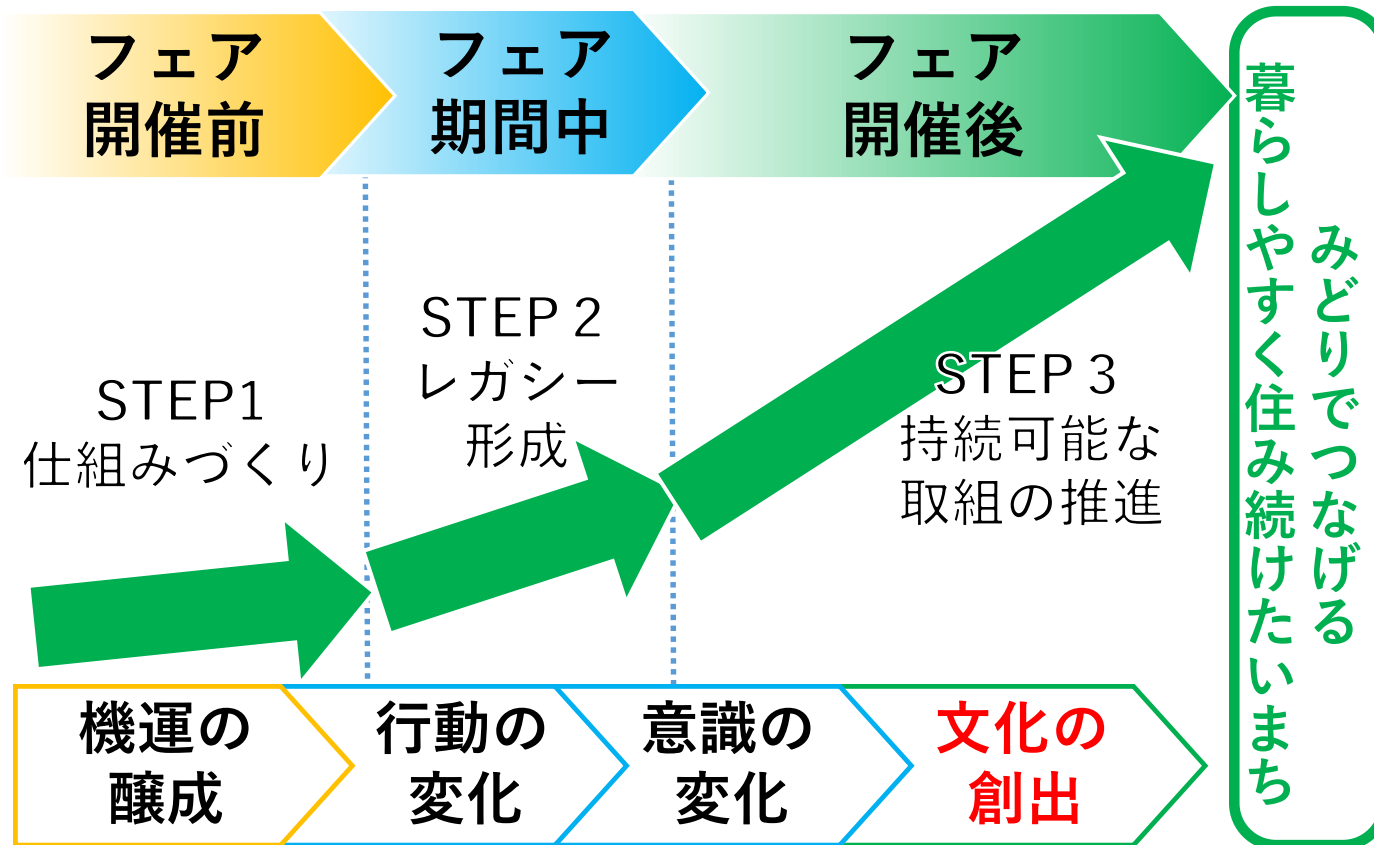
- 市民協働の取組を活かして、歴史・文化を楽しみながら学ぶ取組を展開
- 自然を感じ、楽しむことのできる機会を提供
- 自然の保全と利活用の好循環につながる取組



●かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくり

[目指すべき将来像]

みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち



●かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくり

[目指すべき将来像]

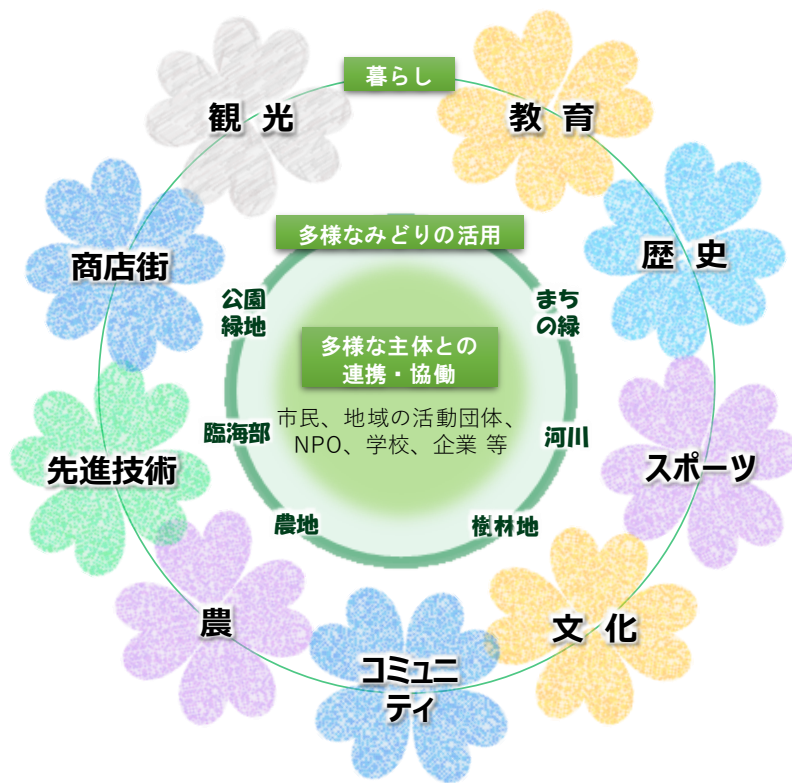
みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

[基本理念]

I. みどりが持つ力を、未来の川崎に向けてみんなが暮らしの中で上手に活用する取組を推進します。

II. 多様な人・暮らし・みどりを結びつけ、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。

III. レガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいきます。



市内の様々なみどりと暮らしの要素を掛け合わせ、協働・共創の取組を推進

●かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくり



【取組例】みどりを取り入れる仕掛けづくり



【取組例】みどりの価値をわかりやすく普及啓発



【取組例】花を贈りあう行動を文化に



【取組例】オープンスペースの有効活用

フェア開催以降につながる取組により、川崎のみどりの新たな文化を醸成

●多様な主体との協働・共創の取組の考え方

- 一過性に留まらない**市民総参加型のフェア**を実現
- みどりをきっかけとした地域の魅力向上や都市の社会的価値の向上に向けて、フェア開催前から、**市内のあらゆる主体との協働・共創による取組**を推進

多様な主体 との連携

市民、地域の団体、企業等の多様な主体との協働による各地域の特色を活かした取組の推進

みどりの共創 プロジェクト

企業等の持つ柔軟なアイデアを活かした、社会的価値の向上に向けた取組の推進

市制100周年記念事業プラットフォーム
「Colors, Future Actions」の第一弾の取組

4 みどりの共創プロジェクト

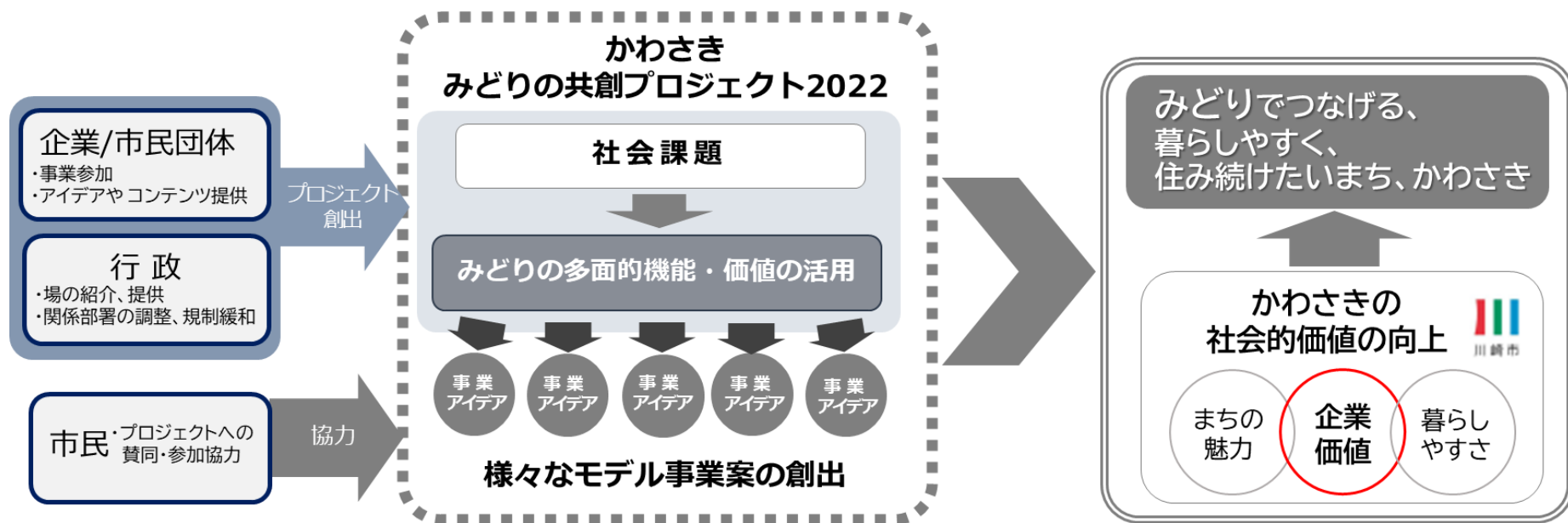
●みどりの共創プロジェクトとは

川崎市市制100周年記念事業プラットフォーム 「Colors, Future Actions」の**第一弾**の取組

- かわさきフェアを契機に、**みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創**により、「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現を目指す
- **全国でも例を見ない先駆的取組**として、新しい川崎のみどりの文化を醸成

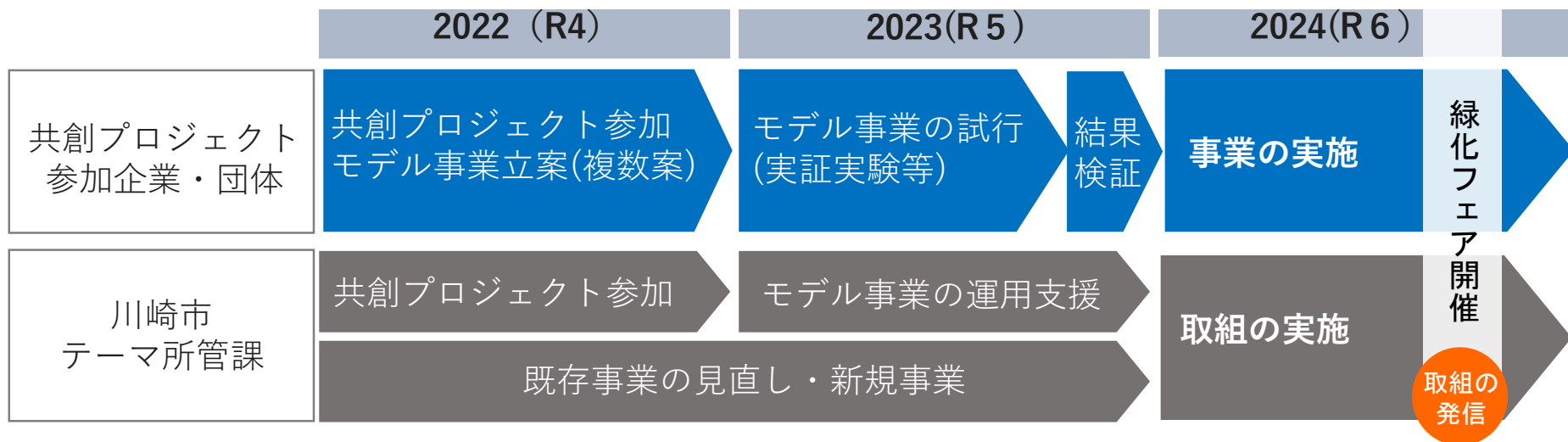


●共創プロジェクトの目的とプロセス



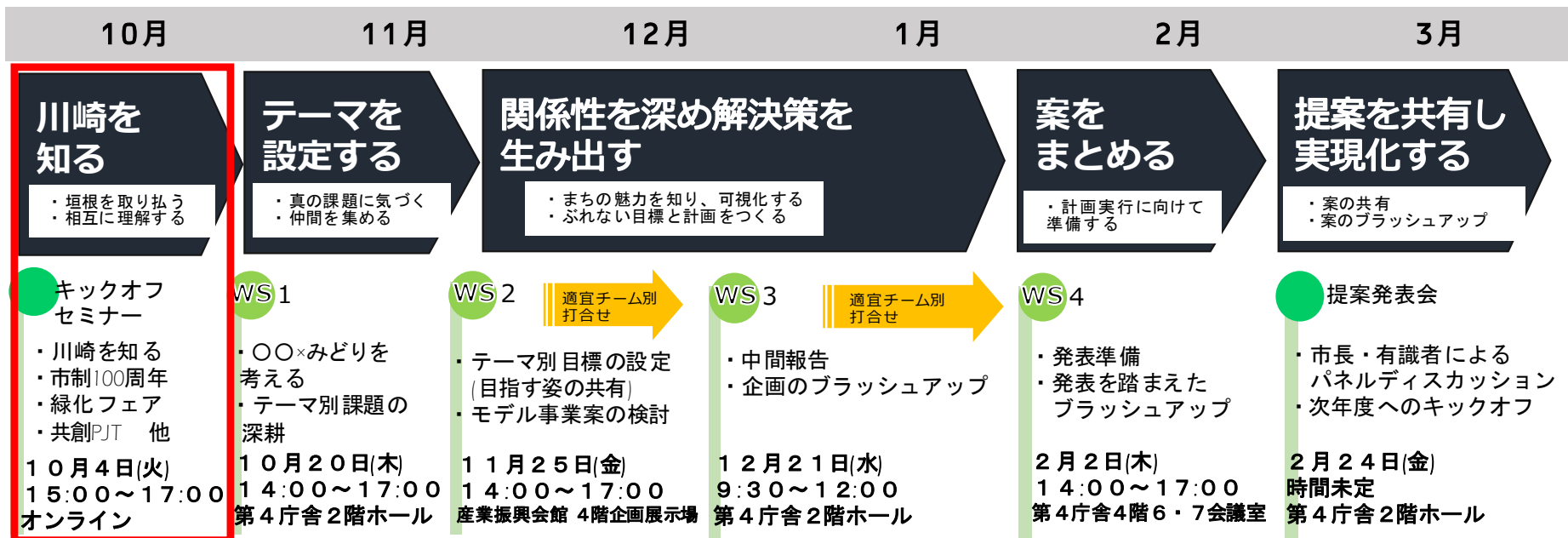
- 多様な主体の参画と相互連携により生み出される柔軟な発想を**モデル事業案**としてまとめる
- テーマに関連する市の所管課等もプロジェクトに加わることで、既存事業の見直しや新規事業と連携した取組

●今後の展望



- 創出したモデル事業案は、**令和5年度予算等を活用し、F/S(実行可能性調査)等**を実施
- **実証実験等を経て事業化**することを想定
- **かわさきフェア**において**取組を発信**
- **フェア以降の取組の継続・発展及び自走化**を目指す

●プロジェクトの流れ



- ・延べ4回のワークショップを開催
- ・具体的なプロジェクトテーマを設定（5つ程度）
- ・テーマごとにチームに分かれてモデル事業案を検討
- ・最終回（2月24日予定）に提案発表

●プロジェクトテーマの考え方

『川崎らしい都市の中のみどりの価値』を生み出す
プロジェクトテーマを複数設定



- 皆さまが有する柔軟なアイデアやノウハウ、技術を、川崎のみどりと掛け合わせることで、行政単体では実現不可能な、新しい価値を生み出していく
- 新たなビジネスチャンスや、企業の価値向上の機会に

●想定するプロジェクトテーマ

1. ICT × みどり



×



ICT技術を活用して、みどりの効果を可視化
みどりの価値向上や、環境教育等へと展開

2. 脱炭素 × みどり



×



温室効果ガス吸収などみどりの環境形成効果を
活用。持続可能な環境形成により、豊かな社会
づくりを推進

●想定するプロジェクトテーマ

3. 体験・学習 × みどり



ACTION 14

学び



ACTION 01

グリーン・コミュニティ

デジタルなどの新技術を活用し、誰もが楽しめるみどりの体験や学習の機会を創出

4. 健康・スポーツ × みどり



ACTION 10

Well-being



ACTION 13

スポーツ



ACTION 01

グリーン・コミュニティ

健康やスポーツの視点から、みどりの活用を推進。

健康寿命の増進により住み続けたいまちづくりへ展開

●想定するプロジェクトテーマ

5. コミュニティ × みどり



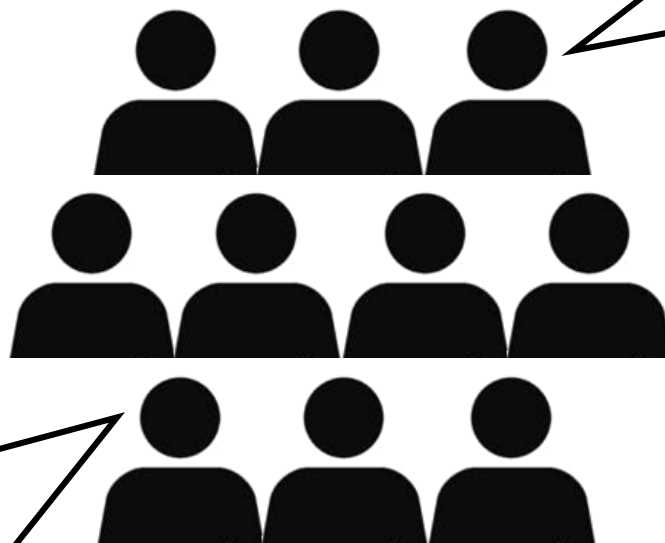
新しい公園緑地の利活用を検討。日常の中でみどりと関わり楽しんでいる社会や文化を創出

- 上記の他、参加いただいた皆様の柔軟なアイデアなどを踏まえて、テーマを設定

●チーム構成

- ・テーマごとに、企業・団体及び川崎市職員が参加
- ・1チーム、延べ10団体程度で構成

チーム構成



<川崎市>

- ・テーマに関連する所管課
- ・政策形成の関連課

<企業・団体>

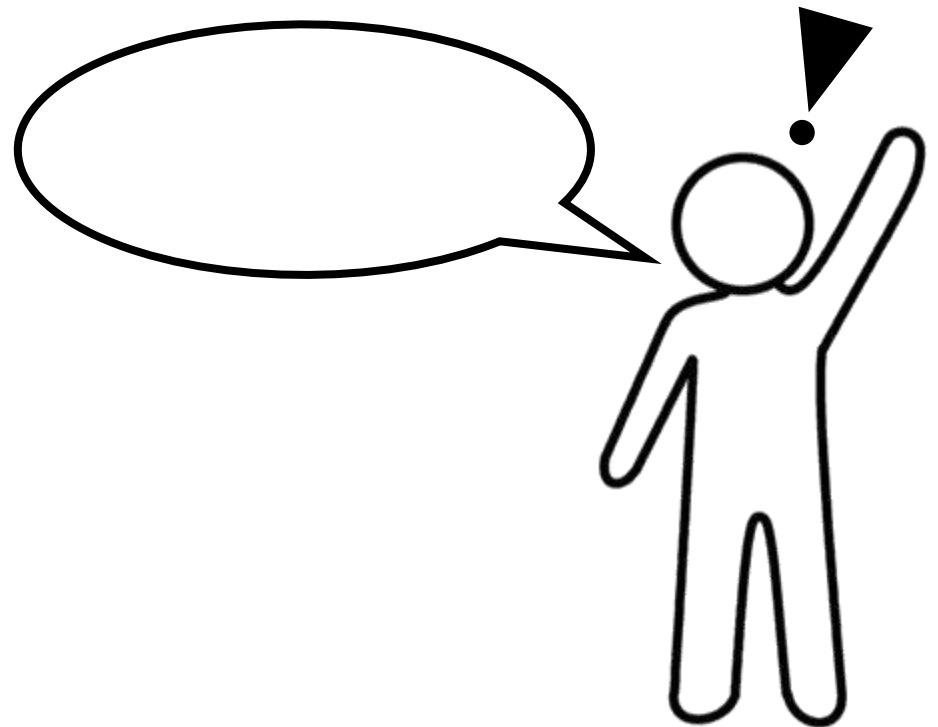
川崎市制100周年
記念事業・全国都市
緑化かわさき
フェア実行委員会
の参加者等

ファシリテーター



●参加にあたって

- 事業連携や共創実績のある方だけでなく、実績がなくともこうした取組に興味がある方など、**積極的かつ建設的な協議を得意とする方**の御参加をお願いいたします。



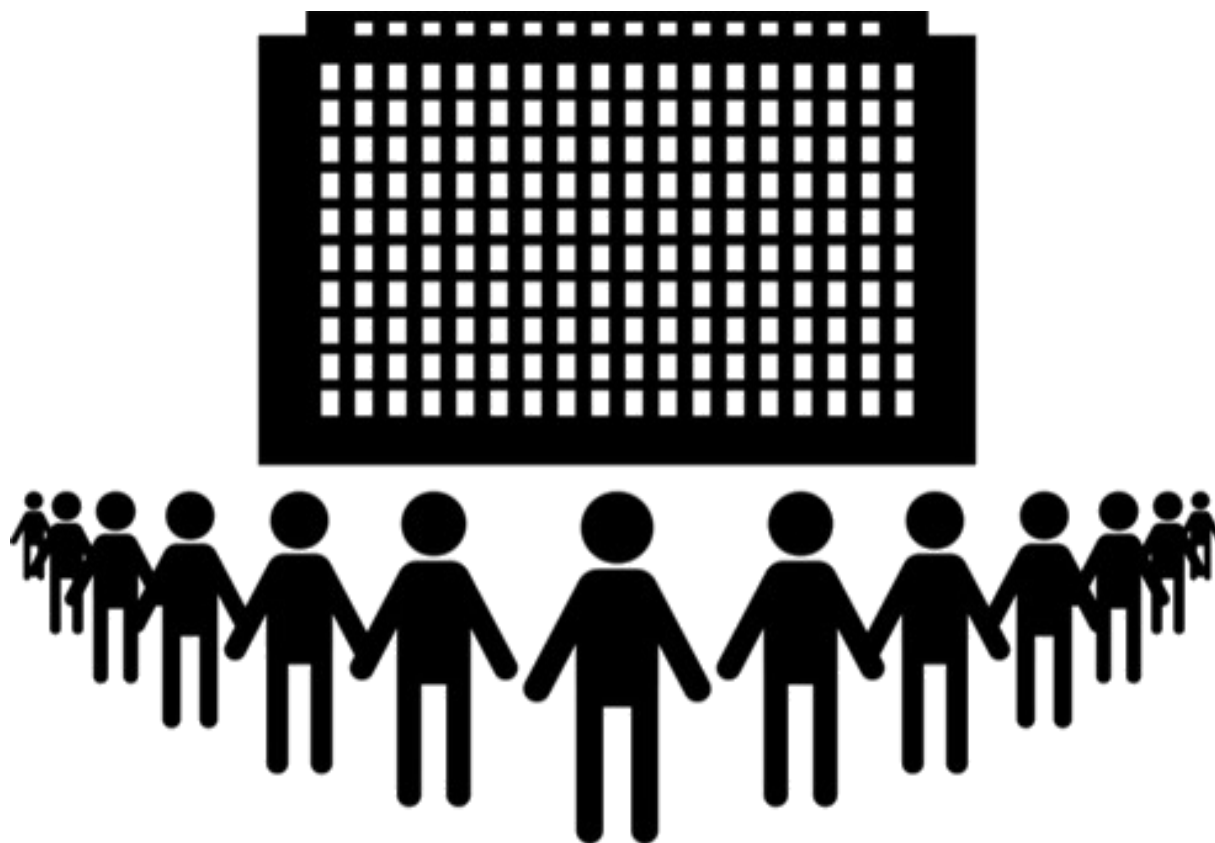
●参加にあたって

- 参加にあたって、専任の御担当者をお決めいただくことが望ましいものの、都合が悪い回は**別の方に参加**いたり、内容を受けて、**別の方又は複数で御参加**いただいても構いません。



●参加にあたって

- ・ みどりに関連しない多様な企業・団体の参加も歓迎します。



●参加にあたって

- 本プロジェクトでは、**事業化に至らなかった場合のペナルティ**などはありません。



●参加にあたって

- ワークショップについては、**服装などの指定はありません。**
活発な話し合いができるよう、話しやすい格好でお越しください。



(参考) 川崎市の取組事例

●公園を地域の個性があふれる空間に

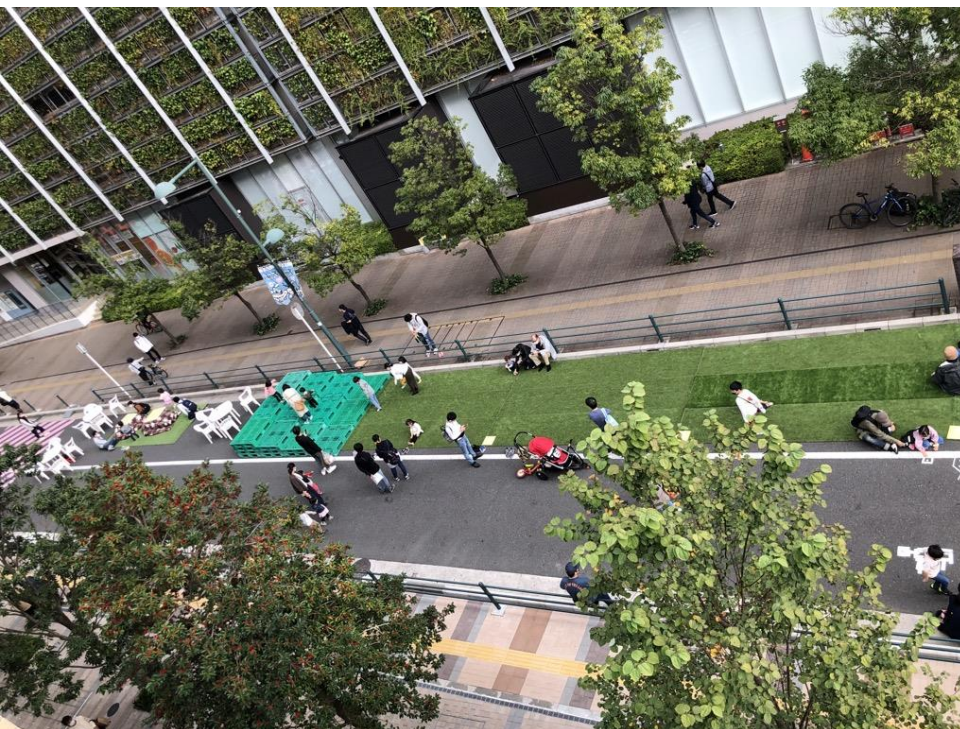


たちばなフェス
@橘公園（高津区）

橘公園や周辺エリアを一定期間、**飲食・物販サービスの提供**や**地域交流イベント**等を実施



●いつもの道路が落書きのできるひろばに



公共空間活用社会実験
@武蔵小杉駅周辺
(中原区)

駅周辺の居心地がよい空間づくりに向けて、駅前道路を歩行者天国化し、「たべる」「あそぶ」「まなぶ」の3つテーマごとに、それぞれくつろげる場を創出



●駅前広場を地域のつながりで「花いっぱい」の素敵な空間に



幸区区制50周年
を祝う企画展示
@鹿島田駅前（幸区）

川崎総合科学高校や地域の
保育園、幼稚園等と協力し、
駅前空間が彩り豊かになる
ことで、**まちに賑わい**が生ま
れ、通行する方々の**癒し**
空間に



●保全緑地がみんなの遊び場に



四ツ田わんぱくの森
@王禅寺四ツ田緑地
(麻生区)

保全緑地を開放し、貴重な自然の中で、子ども達が様々な野外活動等を通して、**自らの手で遊びを想像していけるような空間づくり**



●水辺をニューノーマルな賑わい空間に



ロー密パークフェス
@多摩川見晴らし公園
(幸区)

身近な公園・水辺における
多様な利活用を促進する場
のあり方や昼夜あわせた使
い方を模索する機会



● 「非日常」を「日常」の賑わいに



かわさきよりみちサーカス
@川崎駅東口駅前広場
(川崎区)

川崎駅前のタクシープール
など普段は模擬店などが出
せない場所を使い、「どの
くらい賑わいがつくれる
か」を調べる実証実験



● 空地进行有効活用したまちの賑わいづくり



登戸・遊園ミライノバ
@登戸土地区画整理区域
(多摩区)

市と小田急電鉄が手を組み、
区画整理で生まれた**市や民間**
の空地を暫定的に活用して駅
周辺の賑わいづくり



●公園を地元愛いっぱいの空間に



ミニマルシェ
@宮崎落ち葉公園
(宮前区)

町内会と市民活動団体が連携して、地域の資源をみんなで持ち寄り、公園でマルシェを開催



●みどりの価値の見える化に向けた取組



バイオフィリック
デザイン実証実験
@川崎市役所庁舎

企業と連携し、バイオフィリックデザインの導入によるオフィスの快適性や生産性の向上、ストレス軽減効果の検証



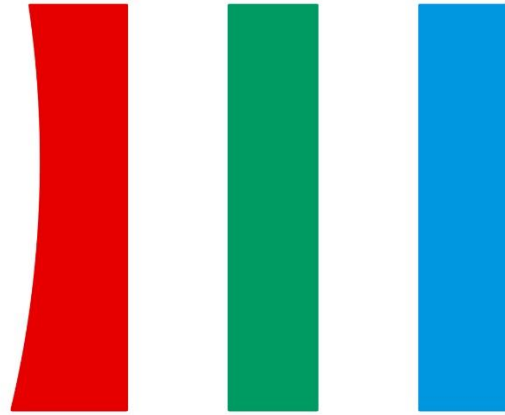
●さいごに

本プロジェクトを通して、
企業、団体等の皆様が、新しいつながりを持ち、
自由な発想やアイデアで生まれる、
これまでにない新しい取組を、次の100年に向けて、
企業の価値、川崎のみどりの価値、都市の価値の向上
につなげていきたいと考えております。

皆さまの御参加を、心よりお待ちしております。



Green For All
KAWASAKI
2024



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市